

第6回幹事会【議事録】

○日 時：平成29年10月25日（水）19：00～21：30

○場 所：江東区役所 7階 第73会議室

○出席者数：22名

議 事

1. 開会あいさつ

発言者	要旨
①	皆さんの熱い情熱をもって、今回は第6回のプレ幹事会という形でこの原稿をもとに④さんにまとめて頂きました素案、提言書をまとめて参りたいと思っています。 今日は河川公園課長及び道路課長、区議会から三次先生が傍聴という形で出て頂くことになりました。また小学3年生も来てくれました。今日もよろしくお願ひいたします。

2. 全体討議

発言者	要旨
④	それでは⑤さん、今日お配りの資料とタイムスケジュールの確認をお願いします。
⑤	まず資料の確認からいきたいと思います。 資料①が本日のタイムテーブルになります。後ほど説明いたします。 資料②-1とあります。こちらが提言書（案2）というものになります。その前に付けたものが、メールで『提言書案2』というものを流させて頂いて、その後に⑦さんからのご意見を受けて少し直してみたものになります。最初の1ページだけ付けてあります。 次にめくって頂いて、資料②-2というものが、メールで提言書案を送らせて頂いて、それに対して意見を頂いた方からのメールを整理して印刷して参りました。 残り参考ということで①、②。第5回プラスと呼んでいた10/2の幹事会と、前回10/12の幹事会の議事録（案）を作成いたしました。こちらについては中身を確認頂いて、何かありましたらご連絡頂きたいと思ひます。大変申し訳ないんですけども、第2回意見交換会の議事録があまりにも長いものですから間に合っておりません。こちらについてはメールで後ほど配信させて頂きますのでよろしくお願ひいたします。
④	議事録は何時までに、というのは。日付を言っ頂いたほうが良い。
⑤	1週間頂ければ、私は寝る時間を確保できるという感じですが大丈夫でしょうか。
④	具体的に言うと何時までに、皆さんからのリターンです。
⑤	リターンの話ですね、私の作業ではなくて。 議事録の確認は1週間ぐらいで頂けるとありがたいです。11/1、水曜日です。
④	恐れ入ります、いまの話は「第5回（追加）、第6回（プレ）の議事録の確認は、この日までには何かございましたら戻して下さい」という話でいいですか。
⑤	はい。お願ひします。 資料①に戻っ頂いて。本日は「提言書を、どのようにまとめていくか」というところが議論のメインになっていくと思ひます。はじめに、いま本日のスケジュールを確認しておりますが、提言書をどのようにまとめておりますという状況、それから書いてはなひです

	<p>けれども、以前アナウンスさせて頂きました小学生に意見を伺うということで、④さんと⑥さんに小学校を回って頂いて、絵日記という形でアンケートをお配りしておりましたものが、つい昨日受け取ることができました。こちらについてご報告を簡単にしたいと思います。それが終わりましたら、グループに分かれて提言書の中身について「こうしたほうが良いのではないか」「どんな風に提出するか」「提言書をどういう風に周知していくか」というところについてグループで話し合っ、その後はまた全体で話し合った内容を共有して、最終的にどのようにとりまとめていくか、周知していくかを決めていきたいと思ひます。</p> <p>今日の目標は21時30分ぐらいに終えたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p>
④	<p>順番からすると小学校の報告からしたほうがよいですか。</p> <p>これはどういふ運びで行ったかは、⑥さんに話して頂いてよろしいですか。</p>
⑥	<p>第1回意見交換会を終えまして統計を取った結果、年代として60代以上の方が非常に多く、逆に若い方が少なかったという結果に終わりました。それを踏まえまして幹事会として、「若い方にご意見を頂きたい」「補完という形で頂きたい」ということで何か方法はないかということで、まず20～30代のお母さま方から意見を収集する方法として、南砂駅近くの子ども支援センターでご意見の募集を、幹事会として行ないました。残るは小学生の皆さんに是非ともご意見を頂きたいということで、アンケートという形で、第二砂町小学校、第六砂町小学校、第七砂町小学校の3校に、校長先生を通じた形でアンケートを実施させて頂きました。実施したのは小学校1・2年生だと、どうしても絵を描く、文字を書くことといふのは、できないことはないですけれどもなかなか意見の反映、意見の収集が難しいということで、3年生以上にお願ひしました。約一週間、先々週の金曜日にお渡しして先週の金曜日に締めとして頂いて、集計としては約200枚を昨日頂きました。全部をコピーして印刷ということが難しく、各机の上に緑色の紙ファイルにまとめたものがあります。かなり見応えがある、子どもならではの意見を頂いていますので、皆さんにご一読して頂きたいと思ひます。</p>
④	<p>では、このたくさんの中で、今日17時30分から見、大掴みの話が少しできればと思っ、て作業しました。前に数字をちょっとご紹介しますと、計算が間違っていたらごめんなさい。ここの計算は間違いございません。小学校3つ、第二砂町小学校から39名、第六砂町小学校45名、第七砂町小学校105名の方から頂きました。学年における区別をできるだけしてみましたところ、トータルでいきますと6年生が72枚、3年生45枚、5年生36枚と、このような工法の分布となりました。今日来てくださっている彼女は3年生。同じ学年の人が45枚ありますから、楽しみながら見て頂ければと思ひます。</p> <p>さて、その中でトップとなりました6年生と3年生で、絵日記という方法をとったわけですけれども、絵日記では絵がございましてタイトルがあります。そしてお話もあります。今日は時間がなかったので、タイトルを書いてくれた絵日記をわけて、基本的にタイトルだけでどういふ傾向の話があるのかという作業を行ないました。3年生を担当してくれた①さん、3年生はどのような傾向だったか。</p>
①	<p>やはり遊具やアスレチック系のものがありました。3年生にもなると字が上手な子は、「生き物がいっぱい良いものがいっぱいある」と。仙台堀というところで水遊びや自然ということもたくさんありますが、3年生なので「遊具がいっぱい」「アスレチックで楽しく遊</p>

	べる」ということが多くあった印象です。
④	6年生はどうでしたか、⑱さん。
⑲	同じ5つのカテゴリーですね。左の2つが「遊べる」「体を動かす」ということ、右の3つが「生き物や自然に親しむ」ということでした。6年生のほうも傾向としては、やはり「楽しく遊べる」「遊具がいっぱい」というほうが多く、生き物や水遊びというものはそこまで多くなかったというのが結果になります。
④	<p>これまで10回に渡ってこういう議論をしてきましたが、なかなか子どもからの声をこの議論の俎上に載せることができませんでしたが、最後に子どもの声を、子ども家庭支援センターに貼って頂いた情報並びにこういう形で、滑り込みでこの協議の素材となったことが本当に良かったと思っています。期限が決められているものではありませんけれども、ここから読み取れるだけのものを読み取って、私たち以外の人たちにも「こういうメッセージが出ているよ」ということを共有していく工夫を問いかける必要があるという考えでいます。またご意見があれば頂ければと思います。</p> <p>もう一つは、提言書に関わる話です。構成とご意見、これについては今日配って頂いております資料に、名前が出ていますが、⑳さんと㉑さんからリターンを頂いています。手元にホチキス止めの資料㉒-1という資料があるかと思います。まずはどんな考え方でこうしたのか、という話を説明させて頂いて、続けて㉑さんからメールで頂いたことの要約的な話をいただき、そののちにグループごとに議論を、という運びにさせて頂ければと思います。</p> <p>最初に資料㉒-1を説明させて頂く形で入りたいと思います。</p>
㉑	<p>ちょっといいですか。</p> <p>流れはそれでいいんですけども、文言を含めていくつか概念が分からなかったりするものがあります。まずは説明を最後までして頂いて、その上でいわゆる言葉などが分からなかったら質問して、それからグループ討議に入ったほうがいいんじゃないかと思います。</p>
④	どうでしょうか、度ごとに質問を受けますか、ページごととか。
㉑	これだけのページだったら、本当はそれのほうがいいんじゃないかと思うんですけどね。
④	<p>4ページしかありませんので、ページごとに。大体、ページを意識して作っていますので、ページごとに説明・質問、そんな形で、「これはどんな考え方だったのか」という意味で共有できる時間を最初に取りましょう。</p> <p>では4ページあるというところから申し上げます。4ページのうちの最初の1ページ。これは「どんな経緯をもってこの提言書に至ったのかということを書かない」と思って作ったページでありました。さて、構成でいきますと、2～4ページは依頼。依頼といいますと、応募で皆さんにお集まり頂いて今日で10回目になります幹事会、基本的に意見交換会の企画・運営が私たちの任務だったわけですが、それを達成させるための議論の中で色々な観点を掘り起こして参りました。そこを要約して成果として、次に向けた、次に向けたと言いますのは11月以降に向けたこの事業の向かうべき道、これを私たちが言葉にしましょうという進行になってきておりますので、それを綴ってみよう。そのチャレンジが3ページです。この3ページのところはのちに説明しますが順番で、まずは1ページ目から説明させてもらいます。</p> <p>上のところは『提言書』と書きました。「平成29年度に江東区は、意見交換会の開催を企</p>

画し運営する仙台堀川公園整備意見交換会幹事会を立ち上げて2回の意見交換会を実施しました。本事業は、11月から再修正案の検討に入ります。」これは共通認識事項だと思いますので記しました。まず私たちの前には修正案というものが存在しておりました。それを受けまして、去年の説明会から一步進めて意見交換会というものを行なう。それを企画・運営するという位置付けでの幹事会があるというのを図示したものです。我々が終わるにあたって提言書を作る。この提言書を次の取り組みに活かして頂きたいというのが私たちの願いです。区ではこの事業の次なる取り組みとしては、再修正案の検討になります。そして案ができたものを踏まえて整備工事を行なう。現在土壌の汚染調査をしておられると聞いております。この対応というものも、この整備工事の中には出てくるだろうと。これをもって工事が終わりましたら再開園という形になる。こういう記述を要約したのになります。

「これまで幹事会は、公園の魅力向上と地域課題の解決につなげて行くために区民意見の読み込み、事業関係資料の確認、意見交換会の企画・運営など、多様な検討を9回に渡って行いました。なお幹事会は、区民11名（内公募7名）、コンサルタント4名、行政4名で構成しました。1000を超す区民意見（小学生が思い描いた絵日記など）、収集資料、意見交換会ならびに幹事会の記録は、区の窓口閲覧（河川公園課・城東公園みどり館）と区のHPに掲載します。」これは模式的に書いたつもりです。公募を受けまして幹事会があり、幹事会で取り組んだものは意見読み込み、資料収集確認、すべての会の企画・運営、それをもって意見交換会①と②を開催したという模式図です。

「江東区長より委嘱された仙台堀川公園整備意見交換会幹事会は、1000を超す区民意見、並びに意見交換会での区民との意見交換を踏まえ、「再修正案の検討」に向けた提言を取りまとめました。幹事会の任期を迎えるにあたり区長ならびに江東区民へ提言書を提出いたします。」今月末日、一同という形で書いてございます。

もうひとつの資料がございまして、これも併せてご覧頂ければと思います。先んじて説明しますが、メールにおいて、「幹事会等々で取り組んできた事柄をもう少し明確に踏み込んで表現してはどうか」という提言がございました。⑦さんのメールからでしたが、それで今日までに「もう一汗かけ」と言われたんですが、かいたんですけども、今日の段階ではこんな形でどうだろうか、という提起です。ここの絵面におきまして、緑・オレンジ・青で取り組んだ事柄を言葉にするということを、1ページの中に入れ込んだらどうだろうか、という提言です。ここを踏まえてご検討頂ければと思います。

それから「1000を超す」という言葉がございました。これが意見交換会①における意見、また支援センターの意見を足し上げますと1300を少し超えます。ですので「1300ほどの」という言葉に直してございます。また絵日記がございましたので、これを読み込んだこともコメントで入れたほうが良かろうと。そういう意思で区民意見意向は、また子どもたちからの絵日記からは、資料の収集は、会の企画運営は、という主語での要約文を入れたらどうか、という趣旨でございます。

まずここで意見、何か分からない言葉等がありましたら、説明ということだけで。意見交換の場でまたグループ討議をしますから、表現が不明解で確認しておきたいことがあればどうぞ。ご発言頂きたいと思っております。

⑨

細かい文字はいいんですね。

④	字が間違っているものはあるね。
⑨	下に線を入れて赤の文字を入れると、上に線をこすって書いているからダブるんですよね。
④	つまり「こちらでいったらどうか」という考え方で、このページは見て頂けるとありがたいです。
⑦	文言、文章の修正でいくつかあるんですけども、それは後ほど。 「読み込み」という言葉は、一般的なのかどうか。僕の言葉で言うと「分析評価」とか、固くなってしまう。読み込みという言葉が一般的であれば、これでもいいのかなと思うんですが。
④	「分析評価」という言い方になったときの評価、そうなった瞬間に評価軸は何かという世界に入ってしまうので、こういう社会的なときには「読み込み」くらいなところが今回の訴えだと思います。
⑧	分析はしていないんですよね。類型化しただけです。
⑦	そうしたら分類かな。
⑧	分類しただけです。
④	分類となるとその尺度は何か、となります。誤魔化したということですけど、「読み込み」という表現に今回はしています。そこら辺のことは意識したうえでこの言葉を…。
⑧	「読み込み」だと分析をした風にも読めますよね。
④	大変グレーな言葉だから、使い勝手の良い言葉か曖昧な…。
⑧	そこまではできていない感じはしますよね。
④	何か良い言葉はありますか。
⑨	「意見を整理した」くらいでいいんじゃないですか。
⑧	「読み込む」じゃない。
④	ただ、皆さんがどれだけ私のリターンを読んでいるか分かりませんが、局部的に「このところは、読み込んでいますよ」というところについては分析もしています。全体的にやっているのか、ということについては私は言えないので、「読み込み」という言葉にしました。これについてはまたグループで議論して下さい。 後は、この表現・構成で質問はございますか。
⑩	幹事会の開催は9回になるんですか。
④	これは⑩さんからの回数で載せたんだけど、⑤さん、どうでしょう。
⑤	後で数えましょう。
④	他にございますか。
⑧	これは新しいほうで話をしているんですか。
④	そうですね。新しいほう、何れでも結構です。質問、両方議論にあげて頂いていいものだと思います。
⑧	僕はどうしても子どもたちからの絵日記の部分が引っかかる。それは区民意見、もともとの1000の意見と意見交換会の意見を集める方法というのは、ある程度公募して集めた。その中で先ほど仰ったように高齢者が多かったという風なことで、若い人たちの声ということで小学校に向かったという経緯は分かるんですが、実際にはその選択的なやり方などは恣意的な部分が結構あると思っていて、ここで区民意見と並列で並べることにに関して、ちょっと僕は引っかかる部分がある。

④	踏み込んで聞いていいですか。これは掲載しないほうがいいという意見ですか。
⑧	こういう風な傾向だったので、「子どもたちから意見を取った」という言い方では構わない。
④	紹介はしないということか。
⑧	紹介はします。だからいま言ったように、「高齢者からの意見が集中したということがあったので、幹事会としては小学校3校に対して意見を収集した」という風な言い方なら構わないと思います。
④	では、それもグループで揉んで下さい。
⑦	それとの関連で、セカンドパラのところで「1000 を超す区民意見（小学生が思い描いた絵日記など）」としていますよね。こういう風にしてしまうとこれがメインだと取られてしまうから。
④	どれがですか。
⑦	() の中で、「1000 を超す区民意見（小学生が思い描いた絵日記など）」。ここは、むしろ削除して。要するにメインはそうじゃないからね。資料収集を通して、下で区民の意向と、それからいま言われたような経緯を書いた子どもたちの絵日記、というような書き方が良いと思う。1300 のメインは違いますから。
④	いま、いくつか出ました。表記の仕方、また話題として取り上げるのかどうか。そういうところはどうぞグループで議論頂きたいと思います。 他、確認等ある方はいますか。
⑬	上の図と下の図の違い、狙いを教えて欲しいです。
④	上の図と下の図の違いですね。図にタイトルが無いですね。だから、そういう意味でも分かりづらいかもしれませんが、どんな気持ちで書いていたかをご説明します。上は大きな時間軸の中でこの事業がどう進んでいるのか。下は今年度前半ですかね、私たちが向き合った期間において、どんなことをやっていたのか。そんな感覚でいました。絵の表現としても白抜きというところに対応させるかな、という意識はありました。でも、いまみたいな質問が出るということであれば、何かしらのタイトルであるとか、工夫する必要があるかもしれません。これもまたグループで揉んで頂ければと思います。 どうぞ、⑦さん。
⑦	文章の流れなんですけれども。「11 月から再修正案の検討に入ります。」これは全体の流れですね、区が関連する。下が幹事会が関係しているものですよね。「これまで幹事会は～」という文章を入れ替えたほうが読みやすいんじゃないかと思ったのは、尚書きで書いています幹事会は、これは「構成されています」、「しました」ではなく。構成されているわけですね。
④	どこの事象で、時制をどこでとるかですね。
⑦	要するに主語は誰かということです。幹事会ではないわけですね。我々が構成を決めているわけではなくて、あくまでも区が、要するに私は受け身で「幹事会は区民 11 名～で構成されています」と。その次に「これまで幹事会は～渡って行いました。1300 を超す～」という。幹事会の構成をまず最初に説明して、「その幹事会はこういうことをやってきました」という風にしたほうが、流れとしてはいいんじゃないのかと。
④	そこはすごく意識して書きました。上は江東区役所が主語であるべきだと。下は大変珍しいスタイルですよ。行政と区民、コンサルという三極が一堂に会した幹事会を主語にす

	ることを、大変意識してこの文章にしました。いまのご指摘も確かにあるので、一緒にご議論頂ければと思います。
⑦	もう一つ、提言書の図です。これは説明を聞くと分かるんだけど、提言書というものは一人歩きするから。やはり文章がまずあって、その文章を図示化すると分かりやすいということで図があると思うんですよね。こういう図だけで出しているのか、文章で出して図を書くのか。ないしは、そうすると分量が増えちゃうので文章だけにするか。これも作者としてはどうでしょうか。
④	最初に言って下さった理解と同じ理解でやろうとしていました。ですけれども、そういうご指摘を頂くとすると、図の読み込み文が不足していると、そんなように私は理解しました。何がしか、初めて手に取られる方がまずよく分かっていないのは「一体これは何の事業なのか」と一般区民の方は思われていますので、もう少し言葉を添えて。言葉だけだと構造が分かりづらいと思いましたがために図を入れたほうがいだろうと。⑦さんのご指摘の、関係をもう少し補強する文章が必要であるならばどういう言葉を入れるかが、課題かもしれません。 「誰に配ろうとしていますか」ということでは、目がちょっと合ったので、いかがですか。
⑧	区民全員、誰が手に取っても分かるようにしたい。
④	年齢はどうか。今日は小学3年生が来てくれていますが。
⑧	小学3年生がターゲットであれば、3年生向けに作らなくてはいけないと思います。
④	そういうことも意識して、提言書は誰に読ませたいのか。読ませたいというか、伝えたいのか。これを意識した上で、いまの⑦さんのご指摘もそうだと思います。ある程度、分かっている人に「やっと、こういう約束を出した」という読まれ方のために出しているのか、そうじゃない方にも「こういうことをやっているんだ」というところからの人にも伝えたいのか。もう1ページ欲しかったかもしれませんね。そこもご議論下さい。まだあるかも知れませんが、後またお願いいたします。 では2～4ページ。これを共通する事項から説明して、これは読んだほうがいいのか。まず1ページは読みます。1ページで構造を掴んで頂けるとと思いますので、1ページ読みます。 まず、構成で考えておりますのは、『提言I』としまして、これまでの議論を串刺しで見れば背骨にあるところの話題として、一体化で取り組むという取り組み方がスタートの姿勢であったようです。さて、その一体化ということがどれだけの価値に展開していったのかということについて、様々な議論がやり取りされたという理解をしてこのタイトルを作りました。『さらに価値のある道路・公園・河川の一体化をつくる』。この取り組み、「一体化は、よろしくない」という思いを持っていらっしゃる方もいるかも知れませんが、行政で取り組んできました計画姿勢に一体化という言葉がございましたので、これが価値を発揮していないという切り口で、提言の言葉は作っています。 文章を読みます。「修正案は、道路・公園・河川の一体整備を謳いながらも個別に検討しており、公園の魅力が削られたり一体化による価値が十分に発揮されていないといった意見が多く寄せられました。」いまご説明した主旨を2行に書いたつもり、こういう気持ちを書いたつもりです。◆が3つございます。ゴシックの文字があります。これが提言Iを構成する主たる話題だろうという認識で書きました。その下にポツがついてはいますが、これ

はそしゃくした設計路に繋がりそうな事柄を書いています。◆のほうは計画論に当たる話題、『提言Ⅰ』と書きましたのは構想というようなヒエラルキーを想定しながら、構想、◆のゴシックで計画論、そしてデザイン論的な話がポツというところ。ざっくりとそんな意識で書きました。その下にはアンダーラインを引いたものがございます。『検討提案』でⅠ-1～6までございます。このゴシックは話題を要約したという文章です。Ⅰ-1～6まで、独立話題だろうと思ったものを仕分けました。元よりアンダーラインを引いております『検討提案』と言いますのは、この後に取り組むことになっております再修正案の検討時に技術的な話題として踏み込むべきことだろう、という事柄を書いています。こういった構造を提言Ⅱ、Ⅲにおいても取り込んで構成したという姿勢です。

◆のところだけ読んでいいですか。

『「一体化により目指す価値と事業目標を明確にする」

- ・何を達成するために事業に取り組むのか、一体で取り組むコンセプトを明示する
- ・一体的な計画の検討を複数行いメリットとデメリットを明示する』

この文章は前回の幹事会の時に、記憶によると⑦さんが仰ったと思うんですが、「複数案をやって」というようなことがありました。私が、たたき台案を作るに際して照らし合わせましたのはこの前の幹事会での記録、そして前回の提言書を作成するに際して1000を超す意見の、特に事業計画の取り組み方等々における複数案、これはどういう具体的な話題なんだろうか、と要約したページが前の提言書にございました。そのページの話題です。

⑤さん、一緒にこれをやっていたとき何を意識しましたか。チェックしながらやっていたでしょう。その2つが割と大きく意識した箇所です。

認識しておりますのは、後は『現況・課題・将来への想い』というときに、実は区民の人たちの意見が対立している状況もある、という整理をしたことがありました。これまでこの議論をするために、根拠はそういう区民の意見から整理すると「こういう対立構造もあるんじゃないか」みたいなことも整理した諸々の資料を見ながら、このダイヤモンドとポツを書いていったという作業でした。

2番目の◆のところでは。

『「地域課題の解決につなげる交通計画とする」

- ・複数案で自動車、自転車、車いす等、そして歩行者の通行課題の解決などを検討して共有する（スピード超過、違法駐車、交錯、横断、バリアフリー、利用しづらさ、安心した通行、園内散策など）
- ・車道、自転車道、歩道の一体化あるいは分離での対応の選択肢を提示して共有する（想定交通量、一通など交通規制への合意、現況変更の規模、工事手法と金額、完成後の運用規制など）』

3番目の◆です。

『「上位計画に基づき仙台堀川公園の魅力を保全する」

- ・緑を保全してC I Gを推進する（緑のボリュームによる気候緩和、延焼防止などを評価する）
- ・公園の面積と魅力的な機能を最大限に保全する（砂町にとって公園や水環境の存在は貴重である）』

これまでの記述において、例えば⑧さんが上位計画という、この前は記述抜けしてしまっ

たので補記した、ああいう言葉も入れておかななくちゃならないので入れてみたりとか、⑩さんが「一方通行における議論は、歓迎と非歓迎というようなものは地元にもあるんだ」というようなことを発言して下さったり、そういった事柄、また「園内を自転車で楽しく通りたい」という声が区民からもあったりなど、一つの話題に「そうだった」「そうじゃなかった」とありました。これを入れてなくちゃ、と思いながらいまこうなっているというものです。

構造説明ですので、次のアンダーライン。

「公園面積最大化のための道路予備設計の実施」。『道路予備設計』とは何か出そうなので、あとで⑩さん、説明をお願いします。

「I-1 最小幅員化と分離の検討

平成 27 年度の交通量調査結果に基づき現況の道路幅員を極力拡幅せずに、現状に見合った適切な歩道および車道を確認する計画幅員を検討する。一体化整備の成果として自転車と歩行者は、機能を分けて公園内に入れる場合でも基本的に分離する。

I-2 線形計画

仙台堀川公園は保全すべき環境であるとの認識に立って道路の線形を見直す。具体的には取得可能性のある用地を組み込んだ線形設定、速度抑制効果のあるハンプ等の導入、屈曲部の線形の工夫などの検討に取り組む。

I-3 護岸構造物および主要景観木の存置の検討

伐採本数は、護岸撤去工事を園内側から行う想定によるものが多い。線形計画の見直しに照らした護岸撤去の縮小化、道路側からの工事想定の見直しによる樹木の保全と工事金額の縮減を検討する。

I-4 電線地中化の研究

景観向上ならびに災害時の障害排除から計画された電線の地中化は、ゼロメートル地帯での合理性、砂町地区における災害の想定、そして一時避難場所として公園の果たし得る役割と有効性も含めて検討する。

I-5 関係機関協議（同時）

工事に必要な交差点協議、線形協議、道路幅員や一通の導入など交通規制や運用の考え方については、利害を伴う沿道の方々や公安委員会との意見交換、協議、調整を同時に行い複数案検討の可能性を整理する

I-6 複数の計画検討と共有

①公園面積最大化案、②道路機能重視案（第四種四級の幅員で最も公園面積が最大化する線形案）、そして③折衷案の 3 案で比較検討を行い再修正案とする。案の比較検討と決定プロセスは、区民と共有する。」

こういうことを書きました。これは一番、この時に考えましたのは、今日道路課長がお越しになっていますけれども、ブースでお話頂いたか全体だったか記憶があれですが、「皆さんが大切になさっている公園であることを理解していますので、それを最大限に残せるような検討に取り組めます」とご発言頂いたのを記憶していましたので、ここで『最大化』という言葉を入れてみました。それから⑩さんが再三、電線地中化に関わるゼロメートル地帯の危険、これは不適格と、強い主張をずっと言っておられました。この前の時に「研究するべきだ」とご発言頂いた言葉をそこに入れさせて頂きました。また樹木が伐採され

	<p>る、これに対して皆さんえらく関心を持っておられて、理解できるわけですがけれども、どういう理由で切られるのか、いくつかの理由がありそうであると。これは「幅員が広がるから」「道路が被ってくるから」ということもあるけど、道路を作るために現況の護岸を壊さなくちゃいけない。その壊す場所を、壊すのは切って取れないので、大きな重機が入るために伐採しなくてはならない。その「工事のために」ということもあるんだという情報もいただけたものですから、それを入れ込んで、道路側から大きな重機で壊すことができれば。ただそうすると交通規制とか一時一通、そういうような不都合が生じますね。それは区民の皆さんの問題として協議していかなくちゃいけないことだということになりますね。また一方通行の話もだいぶ出ていました。これは、一方通行の議論というのは、その検討のプロセスを区民は共有していませんので、「一方通行にすればいいじゃないか」「そうすれば半分ですむだろう」という着想を持たれるのは、そんなに不思議ではないと思うんですけども。やはりそこにはルール上や公安上の何かがあり、それを共有するということが大切にするべきだと。それでカッコで同時と書いたものでありました。等々の意見交換がございましたので、それを要約しようと、しなくちゃいけないということで書きました。</p> <p>⑱さん、この『道路予備設計』とは日常あまり聞かない言葉なんですけど、こういったことでしょうか。</p>
⑱	<p>道路設計の段階としては3段階ありまして、概略設計が一番最初、2つ目が予備設計、最後が詳細設計という3つになります。後ろから順番にいくと、詳細設計というのは工事をするために必要な金額を出すことが目的です。そして、この真ん中の段階の予備設計というのは、道路を作るための用地を確定すること、すなわち線形を決定することが予備設計ということになります。ここでは出てきませんが、概略設計というのはルートを決定的することになります。</p>
④	<p>『ルート』というのと『線形』というのが意味がよく分かりません。</p>
⑱	<p>『ルート』というのは、大きな高速道路をイメージして頂けると分かりやすいかと思いますが、「どこを通すか」ということです。山沿いを通すのか、海沿いを通すのか、というのが『ルート』ということ。『線形』というのは、ではその通すと決めた中で実際に支障となるようなもの、ここは守らなくちゃいけないというものは少し避けるとか、そういうものが『線形』となります。</p>
④	<p>ご理解いただけましたか。</p>
⑦	<p>要するに道路を線として見て、ルートが決まったらどうやってその線を引くか。障害物であったり法律上の規制であったり、そういうことですか。線の形。</p>
④	<p>よろしいですか。ではこのページ、他のところも含めて確認したり、ご意見を頂ける方はいらっしゃいますか。</p>
⑱	<p>すごく基本的なことの確認、全体的なことです。</p> <p>この提言書自体は、作成したのは④さんとコンサルの方たちが相談して作成したということですか。メールは④さんから送られてきたんですけども、その作成に関わっているのが④さんとコンサルなのか、区役所の方もディスカッションしながら作られているのか。その作成のプロセスを確認したい。</p>
④	<p>そうですね。まず意識のところからいきますと、僕はもうやりたくないと思っていたんで</p>

	<p>すよ。これは皆さんがやってくれればいい、19人誰がやったっていいんですけど、誰もやるって言わないんですよ。これじゃ困っちゃうだろうな、ということでしゃしゃり出た、という言い方がいいのかは分かりませんが、コンサルはこういうためにいるのかな、ということでおったわけです。前回の幹事会の際に⑦さんに議事を進行して頂いて、良い議論が本当にできたじゃないですか。これはあと1回の幹事会で今月末を迎えるには、「コンサルがいるんだろう」という感じの議事じゃなかったかなと思って、じゃあ、やらなくてはいけないという発言も、私は最後にしたかと思えます。</p> <p>4ページで、私は前もって厚いのを作ったでしょう。厚ければ喜ばれると思って作ったわけじゃないんですけども、「なるべく短いほうがいいだろう」「そのほうが伝わる」というご発言で4～5だったんですけども、A3表裏で配れるという便宜性も含めて4ページにしようという議論をコンサルの中でしました。⑤さんが割と最初に汗をかいてくれたんですね。⑤さん、そこらへんのプロセスを言って、どうやって僕にボールを投げたかを言ってくれば。</p>
⑰	それでやり取りはコンサルさんの中ということですか。
④	そうなんです。誰も区民スタッフからも何も出てこないし、行政からもないし。なのでまとめました。
⑦	行政の方は関与していないんですね。
④	区民の方も関与していません。ただ、忖度しながら作りました。区民の意見と行政のスタンス。
⑨	私は前回出られなかったもので、その時に見本を書いていますよね。「誰も出さなかった」と言っていますけれども。
④	どうですか、見たうえで。
⑨	<p>私が書いたものはどちらかと言うとネガティブな感じで、いまの修正案に対してよろしくないというスタンスだったので、これを頂いて読んでみて「良くできていてポジティブでいい」と思ったんですけども、ちょっといま2点、このページについてあるとしたら、前提条件として「修正案をどのくらい意識して書くか」というスタンスがまず前提にあると思うんですよ。ここに来るまでは「これで良い」と思って来たんですけど、改めて修正案がどのくらい根強く生きているんだとしたら、そこをどこまで踏まえて書くのか、というところが大きなことであります。</p> <p>後は変な話、細かいところで言葉の問題です。「一体化により目指す価値と事業目標を明確にする」ちょっとやはり分かりづらい。目指す価値と事業目標、例えば「目指すものと事業内容」とか、先ほど…。</p>
④	どこのところを言っていますか。
⑨	<p>『提言I』の◆の上くらいですね。先ほどどなたかに読ませると、小学生にもアンケートを取っているわけだから。ここにも「一体整備を謳いながらも」と書いて、前のものは「そがれたり」みたいな形が、これは「削られたり」になっていますけれども。あと「一体化」と「一体」が混在して使われている。意識して書かれているのかもしれないですけども、ちょっと分かりづらいというところですね。</p> <p>後は「公園の最大化」先ほど言った「予備設計」。というのは、普段使わない言葉だし分からないので、例えば「公園を削らない」「公園を減らさないための道路計画の考え方」とか、</p>

	<p>全体的に平易なものの言い方のほうが、私は良いと思っています。</p> <p>後は細かい話で、気候ではなく気象、微気象でしょうね。そういう細かな文言はできるだけ分かりやすい表現のほうがいいかな、と思います。ここらへんが大きな話で、前提条件として修正案をどのくらい意識するかは非常に大事なことだと思います。</p>
④	<p>逆に⑨さんに質問なんですけれども、また⑦さんもそれに関わるメールを下さっていたりして。私たちがよくこの議論の中で「白紙から」という言葉を使っていたりする。現段階で私たちが出す提言書、これは私たちが頂いたチャンスといいますか、この会議が持っている立ち位置があるんですよ。最初に⑦さんも確認されましたが「これは区がやっているんだ」という言い方で、別のものだという言い方じゃないと思いますけれども、今回の機会は区が企画をし、公募をかけ応募をした人たち、そして私たちが広く区民にやり取りする機会を作るという形での開かれていく状況を作ってきたと思っています。そうしますと最初の1ページのところの、やはり私たちのスタートの前提としては修正案が現存していますので、そこの関係を何かしら謳わなければならないと。こういうご指摘が最初のご指摘ですよ。いまの発言は。</p>
⑨	<p>1ページ目は、私は引っかかることはなかったです。淡々と事実を書いただけなので、その辺は問題ないと思います。1回目に読んで「良い」と思ったのは、⑱さんのコメントに「これをやったら1年どころじゃ済まないかもしれない」みたいな、事業が遅れるのが。コメントがあったじゃないですか。ポイントを絞ってやるようにしないと、例えば1年延ばしたとしても事業が始められない、みたいなものがあったから、「なるほど、そこまで考えているんだ」と思ったから、これをもとに1年延びることが頭にあってこれを読んでいたんですよ。そうしたら結構素晴らしいと思って。ただここに来て改めて来年度から予定はされているわけで、それが始まる前提であるとしたら、修正案を踏まえたものであるとしてはちょっと弱いと思ったので、いま改めてそれを付け加えさせて頂きました。</p>
④	<p>とても良い機会なので、ちょっとコンサルというか、私たちが作る時のスタンスを明確にしておきます。</p> <p>これはこの機会をもって、どれだけの議論がされたのかを、なるべく客観的な立場から書くという意識で書いています。行政のこれまで持っている計画におもねるといふか…。</p>
⑨	<p>それは全然感じませんでした。</p>
④	<p>先ほど「付度」という言葉を使ってしまったから、変な感じになってしまったのは私の責任ですが、書くときには中立に、つまり客観的にどんな議論があったのか。行政的にはこういう計画をもっていらっしゃる。そして様々な活動、意識を持っていらっしゃる方がいて、やり取りをしました。「今後を考えるならばこういうことが課題になっておるようになっています」ということを書きたくて、という姿勢でした。いまいくつか具体的な言葉で、「公園を削らない」「減らさない」という言葉を使わないようにしました。これはやはり「減らしたくない」「削りたくない」という意識を⑨さんがお持ちだから、そういう言葉をいま使われたんじゃないですか。</p>
⑨	<p>私も読んだのは、これがまるきり何もないところからの提言書だったら二重丸とか、すごいんですよ。だから修正案が生きているという状況があるので、改めて読んだら、ここに来たときにふと、やはり思ったんですよ。だから読んでいるときには細かい文字の直ししか私は入れていないんですよ。ここに来て、「やはり修正案が生きているんだからそれに対</p>

	しては弱いな」というのを感じたので。全然おもねたりしてなくて、素晴らしいものだと思います。
④	では、そこら辺はまた、どのような表現が的確かどうかは、また議論頂きたいと思います。
⑦	<p>そういった意味では、いまの質問と関連するかもしれませんが、最後のページの『提言Ⅲ－３ 区民参加プロセスの検討』とありますよね。ここで「区で想定する来年度中の工事着手と●年間の工事期間を前提とします。」と書かれている。これを前提に、いまの計画ですからね、という意味で書かれていると。僕はそれに対して、これはメールしたものですけれども、区がこの提言書で提言されている内容を実行に移せば、整備工事着工時期が現在の計画よりも大幅に遅れることになることは容易に想定されますよね。僕はちょっと読み落としたんですけれども、工事時期に関する記述がないと。ありましたけれどもね。「工事時期に関する記述をどうするのか」ということは、今日の幹事会で意見交換ができればということで、特にこの提言書（案）に対する行政の受け止め方はぜひとも知りたいところで、今日ですね、というメールを出したんですね。ですから、僕は工事時期の件はあとで決める話で、いまはいわゆる1300の意見、意見交換会の意見をどうやって反映した提言になっているかどうか、をまず洗っていく。その後でまさにいま、工事時期を本当に来年の、現行どおりで行くのか、そこを提言書に書くのか、書かないのかが一番のポイントだと思うんですが、それはこの内容を全部見たうえで議論したほうがいいんじゃないのかなと。でないともたそこだけで終わってしまって、この中身が全然議論されないということになってしまうと思いますので、進めて頂いたほうが良いと思います。</p> <p>言葉の問題として共有する、例えばこの構造なんですけれども、提言書、修正案、文書があって意見が多く寄せられました。これらの意見に基づいて『◆一体化により目指す価値と事業目標を明確にする』などがあります。より具体的な検討課題としてはこういうものがあります。そういう組み立てになっているという理解でいいんですかね。</p>
④	そうですね、言葉が足りないですかね。基本的にはそういう考えです。
⑦	<p>分かりました。そういった意味では僕はこの修正案、最初の前段は、すごく大事だと思うんですね。僕の言葉で提示しますけれども「修正案は、道路・公園・河川の一体整備を謳いながらも」以下僕の追加文章案ですが、「道路整備要件の充足が優先され、既存の道路面積でその要件を満たすのに不足する面積を、公園面積の削減で補う計画となっています。そのため公園の魅力が削がれたり、一体化による価値が十分に発揮されていないといった意見が多く寄せられました。従って、以下の提言をいたします」というのが、今までの意見の集約に基づいたものだと私は理解しているので、これはそういう案をここで提案させていただきます。</p> <p>言葉の質問なんですけど、「検討して共有する」と、「共有する」が結構ありますよね。この共有は誰と誰が共有するのか、そこをお聞きしたいです。</p>
④	<p>いま重要なことを2つ言って下さったのは、最初のところからよろしいですか。</p> <p>まずは道路用地の不足分を、公園を削って実現するという事で公園が損なわれたことに対して課題であると。そういう書き方は、先ほどのスタンスに立つコンサルとしてはできないと思いました。なぜならば「道路を整備してくれ」という意見もあるんです。そちらを舐っちゃうわけにはいかないと思ったんです。従いまして、多かったのはどちらかと言</p>

	<p>うと、「公園を削るな」のほうが多かったのは理解しています。でも、そうじゃない区民もいるということを含めて表現していかなくてはいけないことが難しいと思ったんですね。</p> <p>「公園の魅力が削られた」という言い方、そういう大変グレーな言い方でありますけれども、伝えたかったのは「道路を整備してくれ」という意見もあることを踏まえた表現をしなくてはいけない。</p>
⑦	<p>そういった意味では、「既存の面積ではその要件を満たす」ということは、まさに道路整備に対する要望。少なくとも自転車と歩行者については、その要望が具体的にあるわけですよ。そういう要件を満たす、要件は認めているわけですよ、この文章は。要件を満たすために、何もなくていいんだけどいまの道路面積では足りない。従ってそのしわ寄せが公園に行っちゃった。こういうのが今回の幹事会の勉強会で分かったことなので、それを淡々とやったまで、だと。そういう感じです。</p>
④	<p>一方的な論理だけで構築されているように見えてしまう状況があるじゃないか、ということをお仰っているわけでしょう。それらを一体化と言いつつ、一体化ならではの価値に至っていないというような、「一体化による価値が十分に発揮されていない」というそういう表現で、両方をにらみながら書かなければならないというスタンスでの表現なんです。そういうご理解を頂ければありがたいです。</p> <p>それと共有ということについては、一体化とも言っていますが、異質なものが異質なままではなくて、異質なものが異質であるが故に一緒にやったときにパワーが出るという、そんな思いを持って随所に使っちゃっていますが、これについては表現にもっと素敵なものがあれば、腑に落ちる言葉があれば置き換えて頂きたい、すごく抽象的な言葉ですから。</p>
⑦	<p>区民との共有ですか。</p>
④	<p>区民同士の共有もあるんですよ。区民の中にも意見の対立が存在しているということも、皆さんにもう少しご理解頂きたいんですよ。私はたくさん見ましたので、違う意見もあるんですよ。でも声が大きいほうというだけじゃないでしょう、ということですね。またもうひとつ言うと、これは江東区が決めたものではないですけども、道路構造令は国が決めたわけですが、国の物差しというものがあるわけです。それに本当に江東区がいいのかというのは、江東区が考えればいいわけですよ。抵抗するというので新しい何かをやってもいいはずですよ。そうすると行政同士の共有かもしれません。調整かもしれません。</p>
⑦	<p>広い意味なんですね。</p>
⑧	<p>我々の幹事会がスタートしたのは、1000の反対意見など色々な意見が出てきたということがスタートにあるでしょう。そのために意見交換会を開催するということが我々の一番のミッションであったわけです。そのミッションの中で出てきた意見を、やはり一番重要視すべきだと。意見交換会というのはこの幹事会の中で出てきた意見もそれぞれあるけれども、意見交換会で収集したデータを一番重要視すべきだという風に私は思います。</p> <p>④さんが「反対意見もあった」それから「対立意見もあった」と仰るけれども、実際には彼らが述べられた意見としては「白紙撤回」「現状維持」という言葉が多く、その反対意見がどのくらいあるかというような客観的な数字が欲しくて、これは「子どもだまし」と私も言っていました、シールアンケートをしました。だから例えば1000の意見があったうち、「5」とかそこらへんの対立意見があったという風なことで、対立意見があたかも大きな意見のように、50対50とか、そういう風な考え方で語られること自体は、非常に僕は</p>

	<p>おかしな気がしています。それが前提条件ですね。</p> <p>やはり⑨さんが仰ったように、一番最初に修正案がベースにあるという考え方はいいんですが、ベースにある修正案に対してどのような意見が出てきたかということの言葉のスタートが必要だと思っています。意見交換会に出てきたのが概ね「白紙」という風なこと。それから、我々のこの幹事会の中で方向性として、それを踏まえて修正案の良いところなどそこらへんの取捨選択をして、再修正案を作っていく方向性という書き方のほうが私は良いと思う。</p> <p>言葉の話。2ページの細かい話をしますと、④さんが入れてくれた「上位計画に基づき」というところですね。私はもう少し明確に話したつもりで、上位計画というのは「緑と自然の基本計画」の話をしたんですよね。それで、「上位計画に基づき仙台堀川公園の魅力を保全する」ということではなくて、上位計画に基づいて公園整備するのは当たり前話なので、「魅力」など曖昧な言語ではなく「上位計画に基づき仙台堀川公園を保全する」という考え方です。そういう話をさせて頂いた。その上位計画に何が書いてあるかということ、実際には3番目の提言の中に入っているように、計画段階・設計段階から市民参加とする計画です。それから「水辺とみどりのネットワーク」という風な日本語が度々謳われている。もう一つは「緑視率の向上」「みどりのボリュームを上げていく」、もちろん「公園面積を削らない」という考え方。この3つがきちんと上位計画に謳われているので、それに基づいて保全していくんだという考え方をちゃんとやるべきだと、僕は思います。それをきちんと書いたほうが良い。</p> <p>この3つ目の◆のところ、検討提案の中にあまりきちんと盛り込まれていない気がする。なので、I-2『線形計画』のところは「仙台堀川公園は保全すべき環境である」というよりは「仙台堀川公園のみどり・自然・川」、「みどりと川」ということをきちんと書いたほうが良い。「仙台堀川公園のみどりと川は保全すべき環境である」と。先ほどのエコロジカルネットワーク、水辺とみどりのネットワークという風な言葉を使うとすれば、「水辺もきちんとネットワークすべきだ」という風なことが上位計画に書いてあるので、それをきちんと謳うべきだと思います。</p> <p>なので、先ほど一番最初に話した、現状維持だということに戻った上で僕は計画を立てることを提案させて頂く中で、I-6の「公園面積最大化案」ではなくて「現状維持案」と。⑦さんもずっとそう言っていたので。最大化というと、何となく削られた状態で一番大きなものだとは思ってしまうので、やはり区民意見として一番多かった公園面積を変えないプランを、実際のスタートラインとする①をきちんと書いたほうが良いと思います。</p>
④	<p>私がこの取りまとめに際して注意したのは数ではなくて、構造を共有することによって力点を置いて作っています。これは少数意見、既に自分の見解をお持ちの方にとってみると、参加型でいつもハードルになってしまいがちですが、「自分は趣旨を立てているから人の話を聞かなくなる」という人が、残念ながら日本の参加型にはまだ少なくない。そこで専門家並びに行政が果たさなくてはいけない役割というのは、冷静に、ここにはどんな論題があり、どんな資源があり、どんな将来像があるのか、ということそれぞれの専門の人間が提示していくこと。そしてもう一度考えていくということ。良い議論をすることに臆病になる思い込みのアプローチは、将来の人に対する責任の取り方とすると大変無責任だと思うんですね。やはり、これは残っていくものを作ろうとしているわけですから、良い議論、展</p>

	開しておかなくてはいけない論題をきちんと開いて、そして選択すれば良いと。そのためにこれを行っているのであって、これは保全活動を行っている会ではないと思います。ですから少数意見、多い意見、白紙撤回と、たくさんやっている人は分かっていますけれども、来た人が言っているんです。来ない人もたくさんいるわけですね。ですから、あの環境、あのフィールド、この事業によって、考えるべき論題をここで展開して、また皆さんが考えればいいんじゃないですか。そういうスタンスで私は来ています。
⑧	それは一つのスタンスですよ。反対意見だったり賛成意見を言う人は、その意見から変わらないんですよ。実際には自分たちが超えられるという風に思っている人は、その意見を言い続けます。やはり、行政や我々が考えるべきは、最大多数の最大幸福です。実際に多くの人たちがそれによって、この整備計画が新しい計画になって多くの人たちが満足を得られるということは、やはり狙っていかなくてはいけないんじゃないかと僕は思っています。
④	例えば、今回この取りまとめに際して、たくさん木が切られる。その理由は何かということ、資料を見させてもらう中で、線形によって切られるというばかりでなく、護岸を撤去する工事を公園の中だけで行なうから、重機が動くなどするために切らなければいけないという話などは、やはりこういう交換をするなかで知り得たことでした。ですからそれもここに記述しました。私たちは「残したい」というものを残すために、どこに努力したり、みんなでやることによって突破できることがあるのかもしれない。これを探しているんだ、そういうスタンスで書いています。ですので、仰りたいことを先ほど言って、「これだけ多いじゃないか」ということについては理解しているつもりなんですけど、そうじゃない価値観というもので、もとより事が始まっていることを伝えなくちゃいけないし、また皆さんと違う価値観を持っていらっしゃる方がいらっしゃることも共有したい。ですので、提言において言えば、必要な議論というものの論題を客観的に並べる。そういうスタンスでこの資料は作ってきました。
⑧	だとすれば、元に戻した状態で、少数意見の考え方を入れた状態で再修正案を作っていくという考え方のほうが、僕は正常だと思っています。
④	ごめんなさい、再修正案の議論をここでしようとしていません。私は提言書を書くのであれば、これまでやってきたものを取りまとめ方というものを、「やらなくちゃしょうがないならやるか」と作ったような次第でありますので、提言書としてどういう形が良いのかという議論を、ぜひして頂きたいと思います。
⑪	⑧さんが提言書を書くのを変わったらどうですか。「やりたくない」と言うんだから、次はやらなくていいですよ。
⑦	書き方の問題ですが、上位計画とかC I Gとありますよね。こういうものは上位計画がひとつしかないのであれば名前を出す。詳細は添付資料とする。それからC I Gも、C I Gは分からないから、「City In The Green」と、フルでまずは書いたほうが良いと思います。特に上位計画は注記が必要だと思いますね。ひとつなんですけど、上位計画は。代表的なもの。
⑧	「緑と自然の基本計画」ですね。
⑦	それはひとつ。
⑧	C I Gは、区長が「これをやりたい」という話で出てきたので、僕は位置付けはよく分か

	らないです。
⑦	そういう意味では「緑と自然の基本計画」という名前を入れて、詳細は資料を付けるという作業はあったほうがいいと思いますね。
④	上位計画というのは、どういう概念を設定するかにより、全部上位計画です。地域福祉計画もあるし、教育の計画、自治関係の計画もあるし、何をもって皆さんがここでの上位計画とするのか、それは向き合う人が決めることです。だからいまの記述において「もうちょっと詳細にやろうよ」というのは、よく議論して頂いて、何を書くのか。
⑧	①さんに聞きたい。区民の方から質問があつて、「公園の整備計画は何に基づいていますか」と言われたときに、何の計画、どれだとおっしゃいますか。⑥さんでもいいですよ。
⑥	「緑と自然の基本計画」を元にしますし、都市マスタープランも整合性を図ります。
⑧	整合性を取るということですね。直近の上位計画というと、「緑と自然の基本計画」ですよ。
④	そういう言い方をされる人もいらっしゃるし、もっと上位の、全体の区政をどうするかという上位計画もある。だからここで皆さんが「提言書に書きたい」というものを書けばいいんじゃないですか。ただ上位計画というような構造の文章を入れたいという発言はこの前の幹事会であったと思いますので、ここで入れました。だから、どのくらい入れたいかは、ご議論頂いて決めてもらっていいと思います。 他はいかがでしょうか。
⑪	電柱地中化のところで、「ゼロメートル地帯での合理性」と言うと、いかにも合理的だという風にしか取れない。再三言い続けているんだけど、この合理性という言葉は「大震災時の海水浸水の危険性」という風に変えて下さい。
④	⑪さん、ごめんなさい。「変えて下さい」ではなくて、あなたがここで議論して、みんなの議論を経てやって下さい。
⑪	はい。そのあとの「一時避難場所として公園の果たし得る役割と有効性も含めて」というのと電線地中化がどういう関係があるのか、全然分かりにくい。
④	グループの中での議論にお任せしてもいいですか。これをどうして書いたのかの説明を私はできるけれども、その説明をすればいいですか。 私はここで、前回の幹事会の最後に⑪さんが「この話は研究が必要だ」というご発言があったのでそういう位置付けで書くべきだと。また、その際に⑫さんから「あそこまでもう地中化が来ている」という話があった。そういうこともあるならば、さてここではどうするのかというのは、ここだけの話じゃない議論があるんだろうということで、何が一体、政策的な判断として合理性がどこにあるのか。これも含めて議論しなくてはならないと考えたわけです。単なる地中化云々じゃなくて、それを政策としてやってきているこれまでの江東区の判断がありますでしょう。それとどう整合させるのかということも検討して頂きたいと思ったので、「合理性」というのは技術的な合理性だけではなく政策的な合理性も含めて話題にしていくべきだと思って、この言葉を私は使いました。
⑪	私はとにかく危険性という問題がポイントだと考えています。
④	分かりました。それは後でグループの中で協議をして、また全体でやって頂ければと思います。 他はいかがですか。大丈夫ですか。こういう構造でまずいいのかどうか。2～4ページ目

	もこういう構造で、同じ構造で行けるならば読み手は分かりやすかろうかと考えたところでありました。詳細は、進め方はどうでしょうか。
⑰	各提言がいくつかあって、それに対して検討で、「こういう検討をして下さい」となっているけど、それがどういう関連、3つの検討が独立してあるのか。
④	提言のことですか。
⑰	これ全体を見たときに、「公園面積最大化のための道路予備設計の実施」のための検討みたいな、提言ごとに検討が出てきちゃうわけですよ。ここで『検討提案』と出ているじゃないですか。これは検討する作業を想定するわけですよ。「こういう検討をして下さい」という。そうすると3つの提言に対する検討がそれぞれ独立してあるのか、実は一つの検討を作業するけど、こういう構成になるのか。要は作業の時系列なのか、相互に位置付けているのかよく分からなかった。
④	どうしたらいいと思いますか。
⑰	逆に、それをどういうイメージで書かれたのか。
④	⑱さん、ここの検討提案のところ。僕が「電線地中化の研究」という項目を入れましたが、それ以外は⑱さんが書いています。説明してもらっていいですか。
⑱	構成と読み取り、私が書いた部分の考え方ですけれども。前半の◆は意見交換会、それから区民の方々から出た意見をなるべく直接的に書くことによって集約するという形でまとめています。これに対して『検討提案』と書いたところは、具体的に幹事会としてどういう作業ですとか作業手法、作業手段といったものをどういう形で提案すると、区の方が受け取って「これが必要だ」「これはやりにくい」といったような判断材料にしやすいかなと思いました。『検討提案』とは何をやって欲しいかというか、受け取る側の気持ちが大事なかなど。同じことを言っているつもりなんですけれども、区民の方が一旦ボールを投げました。それを区の方が受け取ってアクションを起こすときに齟齬がないように、提言としてワンクッション置く。そのためにこういう項目があると、行政の方も受け取ってキャッチがしやすいのではないか、ということで構成を考えて、④さんに仕事を渡したという感じでした。
⑰	そうすると、時系列に整理しているという話ではなくて、区民から出された意見に対してそれを具体化しようとするところこういう検討がある、検討項目としてこれが必要である、そういう感じですか。
④	エンジニアとしてこの事業が進むのであれば、「こういうようなステージの検討をしなければならぬ」というスタンスで割と書いてらっしゃいます。だから⑱さん、言葉が分かりづらい。一般の人には。それはやはりそういうようなスタンスで書いているからということですか。先ほど⑱さんがいくつか説明してくれましたけれども、ちょっと咀嚼する言葉であるべきだというのは、先ほど④さんからも指摘がありました。
⑱	この間会議が終わってから、マンションの方や町内の方から話を聞いたんですけれども、大体の方は「新しくなってきれいにすれば、いいんじゃないですか」という意見が多かったです。あの中で反対していたのは30数名でしょう、文化センターへ来た人は。結局そういう人は来ました。地元で本当に住んでいるマンションの方などは、周りが良くなれば価値観も上がってくる。よく言っている一方通行、車はしないでくれとあるけど、最初にあの公園ができたときは木があったんですよ、ちゃんと。水車小屋があって水が流れてい

	<p>た。それがだんだん老化してきて水が流れなくなって、詰まったり汚れたりしたから整備するんだと思うんですけども、昔みたいにきれいになれば本当に良いと思います。あまり来ない人が、整備に賛成している人が多いんですよ。昔のことを知っていますから。ところがだんだんそういうものが壊れてきて、壊して、なくして、それをまた新たに言う「水車小屋が欲しい」と。休む場所の東屋もあったんですけど、火事で燃えてしまったんですよ。昔はそういうものがあって木がきれいだったんですけど、だんだん汚れてきたりしたから。その昔のことを知っている人は「今度新しくなるんだからいい」という意見が多かったですよ。</p> <p>町会で話をしたんですが、「そういう意見が出ていますよ」と言ったんです。道路はそのままにして欲しいと言っていました。マンションの住人が車で出かけるのに、一方通行はダメだと。それにいまの公園はそのままのほうがいいんじゃないか。一回潰すと直すのは大変だから、という意見です。川だっていまよりも小さくしてもいいけど、皆さんがいま釣りをするにしても、あそこにちゃんと柵があったりして、浅くしてやるならいいんだけど、やはり安全という立場を考えてなっているかもしれないけれども、「安全」とやるよりきれいにして頂ければ。土地の価値観が、新しいマンションができているからね。そういう人たちに聞くと、もう少し整備してきれいにして欲しいという意見なんですよ。</p>
④	<p>今回の幹事会の構成メンバーは、大変良い構成が取れていると思うんですね。地元の方であり、自然環境保全をずっとやっていらっしゃる方であり、また⑩さんのように電線のことの専門でいらっしゃるというか問題意識を強く持っていらっしゃる方、またあまり近くではないと⑬さんも仰っておられたけど、このばらけ感覚がとても、統計的な話ではないとは思いますが、大変良いバランスでそういう話が出てきていると。これをどういうように客観化するかというのが、提言書のひとつの果たさなくてはならない役割なんじゃないかと思うんですね。</p>
⑦	<p>色々な意見があると思うんですけども。いまの⑮さんのご意見をずっと聞いていましたけれども、町会の人に聞いてみたら「きれいになればいいんじゃないの」と、だから修正案でいいのでは、と。でも最後のほうで「道路はいまのまま」「公園はいまのまま」。いまのままで水もきれいになり、公園の中も道路も、要するに「いまのままで」ということは「削られてもいいんですよ」というね。そういう点については「いまのままで」と言われましたよね。いまのままでより良くなるという、そういう風に僕には聞こえたんですが、そうなんですよね。これは④さんの言われていることとちょっと違うと思うんだよね。いま⑮さんが言われたこと、前からそうですよね。削られることには、いまの状態をもって改善していくのがいいんじゃないか。こういうご意見でずっと一貫している。いまの町会の人たちの話も、公園面積が削られて道路幅が広がって自転車道・歩道が確保される。そういう修正案が良いんです、ということではたぶんないんだと思うんです。という風に僕は聞こえたんですけど。</p>
⑮	<p>電線地中化の話もしたんですけども。この間消防署の方から、3.11の地震時にディズニーランドは駐車場でも何でも、海水や何かが出てきて、地下水がね。それでも電線は無事で夜はちゃんと電気は付いたと。いざ地震があったときには公園の中にいてもらって、物が落ちてくるといけないからと売店にあるぬいぐるみなどを全部、食料品もお客さんに無料で提供して、電気が付いたら施設内の安全を確認してから入れて、一昼夜そこで待機し</p>

	<p>てもらったと言っていました。無電柱化と言っても、いまはゴムなど色々と考えていますから、そんなに海水ですぐに電気が止まるということは、本部のほうで止めて「危ないから止める」というぐらいじゃないか、という意見も出ました。</p>
④	<p>ちょっと整理させて下さい。</p> <p>結論からすると「この提案・提言書で、この案にしないでしょ。つまり「再修正案をやるならば、これだけの論題がございませう」ということを明確に伝えたいということが、これを作る趣旨でしょう。だから両論併記というか複数論の併記だし、観点を明確にするということが一番重要な役割なんじゃないかと考えているんですが、これにご異議はございませうか。</p>
⑨	<p>先ほどから言っているように、修正案がなければ私はこれでいいし、④さんが「色々な意見があることの構造に留意をした」と仰っていましたけれども、冒頭のところにも「多く意見が寄せられた」という。やはり、数というのはそれなりに大事なことではあるので、そこら辺。私はマイノリティを排除するということはまったくなくて、逆に道路の意見交換会で話をしたときに「歩道の、車いすの通行」という話で、2人が小さくなるような声で、1人なんか泣きそうでしたけれども。そういうのはものすごく嫌なので、やらなくてはいけないけれども、やはり数的なものはきちんと示すべきだとは思っています。だからその辺は先ほど言ったように、何回も言いますが修正案の位置をどの程度、幹事会として、きちんとそれを踏まえたものにしたほうが良いと私は思っていますけれども、それは皆さん色々な意見があるでしょうから、そこはもうちょっと。これはものすごくフラットなので、そこを再修正案に向けたものにするのか、このままフラットなのか。私個人はそうだけれども、皆さんのご意見があつて位置付けを少しずらしたら、私はそのほうが良いと思っています。</p>
④	<p>この絵ですね。最初に修正案がございませうでしょう。修正案というものは一体何か。それに対してはどんなスタンスで臨むのか、みたいなことをどこまで書くのか。もう一つは意見をたくさん、1000 もらった。それを何が多かつたか、どうだったのかをどこまで書くのか。そういうようなこと、具体的には…。</p>
⑨	<p>具体的ではなくて。あまり公園の最大化などに気を遣う必要はないのかな、と。というのは、修正案が現存としてあるわけだから、公園が削られるということは私も何回も言っているし。そこは公園が削られないための考え方。一番分かっていないのは一方通行で道路が半分になるとか、そういうことを思って「一方通行が良い」と言っている方も多ので、そういったところが、私が資料と散々言っていたのは、皆さん考えの拠り所がないうえで、感覚でものを仰っているからいけないのであつて、それを平たく言えば「なるほど、ここはこうなのか」と分かるので、そのための共有。何回も言っているように法律との共有ということでやっていければ、地中化の話でも。3.11 で大丈夫だったのはこちらの話ですかね。あれがここに来たらまた違う話になるでしょうから、そういったことも踏まえて、3.11 の規模くらいが来るのは100年に1回か分からないですけど、それよりも99年のほうが大事だと思えば景観のほうを重視してもいいわけですし。そこら辺の判断材料として並べておく。ただ、今の公園としてはこうですよ、ということはきちんとやっておいたほうが、それほど客観的に、どちらが良い・悪いではなくて「このくらいの数がありました」ということはしていいと思います。</p>

④	これについては、このホチキス止めの資料で説明しましたけれども、⑦さんが送ってくださったことを踏まえて、「もう一汗かけ」と言われて、複数案のどういう意見が寄せられたのかを要約するというのをもう少しやらないといけないんじゃないかと。
⑨	もう一つだけいいですか。 私は逆に、文章というのは短くすることが物凄く大変なことなので。先ほどから色々皆さん言っていますけれど、合理性とかありましたけれども、ここはこれでできるだけ凝縮したもので、さらに後ろにちゃんとした資料が付けば私はそれでいいかと。ここに書き込んでくるとどんどん読みづらくなるので。
④	そういう意味ですね。そのコンテンツを入れるということについての必要性はどう考えてご発言されていますか。つまり、いま言ってくれた区民の意向の…。
⑨	あまり入れ込まないほうがいい。ものとしてはこれで十分良くできていると思うので、ここから先読み込みたい人は後ろにあるとか。
④	つまり「後ろに」は、どこかに入れたほうがいいという。
⑨	私が資料と言っているのは、皆さん分からないので。分からない人は読まない、読まない人は読まないでいいんですが、文句を言う人はまずこれを読んで「なるほど、そういうことなんだ」と。そういうことを、ここを見れば分かるようにしてもらいたい。
④	ちょっとこれを見てもらってもいいですか。⑦さんからのメールを頂いて、こういうことなのかな、と。区民意向、意見の読み込みについて話があります。緑で、オレンジでどんな作業をしました…。
⑨	そこら辺は、⑦さんも⑧さんも仰っていたように、そもそも意見交換会が始まったのは、修正案やもとの整備案がよろしくない、という声がたくさん集まったので、「意見を聞かない」というスタンスで始まったと私は思っているんで、そのところは非常に大事だと思うんですね。何も起こらなければ、そのまま事業は進んでいたわけですから。
④	僕が聞きたいのはその話ではなくて、⑦さんが送ってくれたり、⑨さんがいま言って下さったのは、1000 の意見等々においてどういう構造だったか、状況だったかというコンテンツをどこかに入れたほうが良いという意見なんでしょう。
⑨	それは巻末の資料でいいと思う。
④	それをやはり入れたほうがいいと思っの発言ですね。
⑨	入れたほうがいいと思っというよりは、基本的に数について、意見を並列にということをやっていたけれども、数の論理はあるよと。ただそれはあまり、この表面から書き込むことはそんなないけれども、後ろや資料的には「これだけの意見があっこうなっている」というのは付けたほうがいいということです。
④	前か後ろの話は皆さんにお任せですけども、そういうコンテンツを提言書に入れたほうが良いということですよ。
⑨	数の理論は絶対入れたほうが良いと思います。
④	つまり 1000 の意見というものはどういう状況だったのかということ、入れたほうが良いということを行っているわけですね。
⑨	後は、そもそもの経緯ですよ。
④	それは修正案というものに対して、1 ページ目のこの青い矢印のところを言葉にしたほうが良いと仰っているという理解でいいですか。

⑨	青い矢印自体は、私は意味が分からない。
④	それは文章にするならば、と⑨さんが書いて下さっていいわけでしょう。⑨さんがやって下さっていることというのは、どういうことなのかを理解して、いま質問しているだけです。だって誰が作ったっていいんだから。⑨さんが言ってくれているのは、この内容では修正案があって、この幹事会は一体どういう位置付けでやったのかというところの書き込みが不足しているんじゃないか、ということを話題にしてくれているんじゃないですか。
⑨	そういうことを細かく書くと大変だから、そんなに書き込まなくていいですよということを行っている。ただあったほうがいいけれど。
④	必要だと言っているんでしょう。
⑦	僕が提案したのは、修正案に対する区民の意見の分析、内容、区民の意見意向は、というのでまさに短い文章で「こうです」と。詳細は添付資料を参照で、そこには量的なものも書いてある。ということを出しておかないと、提言Ⅰ～Ⅲでそれぞれ2行ずつしか書いていないからね。それでは区民の意見とは何なのかが分からない。そういうことではないんですよね。
⑨	はい、そういうことです。
(三次区議)	<p>皆さんの議論を聞いていて、長年愛されてきたんだということを感じました。先ほどもおっしゃっていましたが、楽しみにしている方はなかなか足を運んでこないという、そういうところもやはり、反対というか自分の考えがある方ばかりが足を運んでいるということはあると思うので。どちらにしても愛されている公園だから、楽しみにしている方も参加してもらえそうな意見交換会という、「楽しそう」「今後に未来がありそう」というのを、もう少し意見交換会のときに作り上げられなかったのかと私は感じました。そのほうがきっとより良い議論もできたと思うし、こういう場面で「楽しみにしている」という意見もあり、でもここについては「こういう風にしていったほうがいいのか」という、建設的な意見を意見交換会で求めていたので、とても2回の意見交換会はずごく残念で仕方がなかったんですけども、今日幹事会に参加させて頂いて良かったというか、ほっとしたというか。「ちゃんとした議論ができていいるな」と、ほっとしたところでありました。後は、④さんのファシリテーターとしての、コンサルの部分で皆さんが思っている位置付けというか。「まとめてくれている人」という位置付けで皆さんは思っているのか、そういう位置付けに対して、「④さんから皆さんに」と「皆さんから④さんに」が違うのかな、という風には感じました。こういう部分だけで、このメンバーならまとまるんじゃないかと、意見交換会から比べての安心があります。</p> <p>最後まで居られませんが、明日あたり課長に連絡してどうだったのかを聞いて、私のほうからも議会で、⑨さんも色々のご活動されていますけれども、その辺も吸い上げて提言していきたいと思っております。⑨さんは積極的に来て頂けるんですが、他の方の意見も平等に聞きたいというのがありますので、気軽にご連絡いただけたら嬉しいと思いました。今日はありがとうございました。</p>
④	<p>お話を頂くと私が決めてしまってますすみません、失礼しました。</p> <p>継続していまの話ですが、基本的にはいまご指摘頂いたのは、修正案が存在しているということに関わって、さて今回は何なのかということを書いて記述しようじゃないか、というご発言と、区民意見は果たしてどういう構造・傾向だったのかを書き添えようと。資料につい</p>

	<p>でも同じだと、そういうお話ですよ。よろしいでしょうか。</p> <p>それから三次区議から「④は何か」という話がありました。私は同じスタンスにおりまして、私がこういう風に「こっちに連れて行く」みたいな意識は、私はないんですが、気になることがありましたらどうぞご発言いただきながら、と思います。</p> <p>それでは、いまみたいな構成で3・4ページと書いてございます。これについてはちょっと時間を食うのももったいないと思うんですが、いかがでしょうか。進め方について提案頂ける方はいませんか。同じ塩梅でやったほうがいいですか。</p>
⑦	<p>中身で質問なんですけれども。</p> <p>3ページ『提言Ⅱ』最初の「不都合」とは、どういうことを言っているんですか。</p>
④	どこですか。
⑦	◆地域と公園における安心安全を確保する「道路による公園分断による不都合を解決し」とありますが、「不都合」とはどういうことを言われているんですか。
④	これはですね、明快にこういう表現の札はあるんですよ。公園分断というのは、僕は理解は2つあるかと思ったんですよ。公園を繋げるというときに、隣の公園、亀高公園とか。
①	基本的には東西のものが見えないというか、反対側から反対側へ見通せないなど、そういう分断。それから高さ的にもいまはどうしても、もともと川だったので特に城東公園の前は急勾配のスロープになっているので、多分その辺のことを書いてある。要は、公園は川だったので、当然のことながらもともと分断している。東西の東砂と北砂側が分断されているのは、もともと川だから当たり前で、それを少し解消しようというところも一つの狙いで、それを書いているんだと思います。
⑬	南北が分断されていることも含んでいるんじゃないですか、そういう意見も。要はせっかく長く散策できるのに、途中で分断されているということもあつた気がしますけれども。
④	特に向こうの直角に曲がった、東西になったときの仙台堀川はアンダーパスになったりとか、クロスしていますよね。そういうことも含めてなのかもしれない。また、ちょっと私も申し上げますが、城東公園と仙台堀川、仙台堀川と亀高公園といった、そういうところの分断こそも言っているように読んでいました。
⑦	後は、みどりとみず、それに土。吸熱効果のある土というのも大事なんじゃないかと。
④	ありましたね。土の面を、というのもありました。これはちょっとご議論頂いて、土というのもあつたということで。
⑦	なかなかないですよ、都会の公園で土、城東公園みたいなものは。仙台堀川の中でも多くはないよね、土があるところは。「大木と緑の帯となっている樹林地」に「土」をいれたらどうかと思ったんですがね。
④	土については周知のことですが、「汚染されている」ということに関わる意見も複数あつたんですよ。それについては書かなかつたことですよ。1ページに「(土壌汚染対応を含む)」と書いたからいいかと。いまは土のポジティブなほうですね。
⑦	「Ⅱ-5 公園活用に関する検討」で羽根木公園、南池袋公園と例示されていますよね。
④	ここは⑩さん、いいですか。
⑩	羽根木公園は④さんも関わっていらっしゃるプレイパークで有名なところですよ。南池袋公

	園が開園したのは去年で、池袋駅前で割と浮浪者がたくさんいるような公園だったところを、地域の人と相談しながら、レストランと芝生広場、子どもが遊べる遊具があり、ステークホルダーじゃないけど、色々な立場の人が関わりながら公園の運営をしている、そういう事例ということです。
④	エリアマネジメントという概念、「地域でどうしましょう」という概念の中で、この公園はこうしましょう、と。それでいま注目されています。豊島区がすごく力を入れている。
⑦	その次の「都市公園法改正と公園運営」とは何のことですか。これは⑨さんが言われていたことですか。
⑩	書いたのは私です。都市公園法というものが改正されて、いままでの都市公園法の縛りでやれなかったことが随分やれるようになった、ということです。私なんかは具体的な話がよく分かっていないので、従来の、僕なんかは持っている公園のイメージと違う使い方もできるようになっているんですね。そういうことも情報として仕入れておけば、「こういう公園にしよう」という話も、もう少し膨らみのある話になるのかな、という風に思ったわけです。
④	僕が専門なので端的にちょっと言ってしまうと、都市公園法が改正されました。今度の改正の骨格は何かと言えば、民間のお金などを使って公園施設を作ろうという類の話と、17条の2という新しい条文が入って、協議会というものを立ち上げれば、協議会の決定を最高決定に近いくらいにして遵守していきましよう。協議会の構成メンバーというのは、先ほど言ってくれた、公園に関わるステークホルダーの人たちです。これに関わるパワーポイントができています。これについては皆さん関心があるかもしれないので、国交省で出している公園に関わる様々な、今度の都市公園法に関わることがよく分かるというパワーポイントを最近出すようになったんですね。それを皆さんに回しますので、ぜひ研究頂ければと思います。
②	それはこれとは関係ないよね。
④	どこまで踏み込むか、これは行政の腹ひとつでもあるんですけども。
②	仙台堀川公園の改修にあたってはPPPの活用なんですよ。都市公園法の関連で。官民連携なんですよ。それをこの会で議論するというのはちょっと。
④	前半のほうは、そうなんです。後半は、いま申し上げた協議会みたいな…。
②	協議会も「作っていいですよ」という扱いなので。
④	「できる条例」なんです。
②	「作りなさいよ」じゃないんです。「作れば何でもできる」というわけでもないんですよ、また。
④	作っちゃったら何でもできるですよ、割と。
②	それはあくまで管理手法及び整理手法の話なので。今回の仙台堀川はそこまで煮詰めていくと、3～4年後の話になる。また今後の管理運営の仕方の話になるので、申し訳ないんですけどもそこはちょっと。
④	あとで良かったらお渡ししますが、12/2に町田さんという課長と私が神戸ですけども、都市公園法改正のシンポジウムをやるので。そういう情報が欲しければ、神戸へ来てもらえれば国の課長と繋がりますので。 都市公園法の改正に関わる話というのは、まだ5月に改正したばかりなので「どうしまし

	よう」という感じですが、ただ勉強したほうがいいですよ、私たちはね。利用するのは法律だと思って勉強したほうがいい。
②	行政もいま勉強しているところなので。
④	いま条例の改正を各自治体はしなくちゃいけないので、勉強している最中です。どうぞ、ほかにございますか。
⑦	<p>『提言Ⅲ』ですが、これはすごく重要なことだと思います。◆ではなくて、①やAなどに変えたほうがいいかと思います。</p> <p>一番目の◆の中で「再修正案の検討の段階においても区民と行政と専門家との協働の取り組みと期間を確保する」と書かれていて、検討提案Ⅲ－3「区民参加プロセスの検討 協働検討部会での取り組みは、区で想定する来年度中の工事着手と●年間の工事期間を前提とします。」と。これは、このまま文章としては全然矛盾していないんですけども、我々提言者としては提言はぜひ実施して欲しいんです。行政において。そうすると、来年度の着工には、たぶん間に合わない可能性があるよね、と。このプロセスを経て間に合えばいいんですけども。僕はメールで追加コメントをさせて頂いたんですけども、読んでしまいますね。「区は基本計画に対する区民の意見に対応すべく修正案を作成したが、公園面積を削減せずに区の言う自転車、歩行者、自動車に関する社会的要請に応える策はあるのではないか、というのが 1000 を超える意見、並びに意見交換会での区民の意見の大勢であった。仙台堀川公園は江東区民が約半世紀にわたって築き上げてきた貴重な緑と水の自然環境であり、今回の公園整備でより良い自然環境にすることは、未来に対する現区民の責務ともいえる。従って、区行政が、この提言書に記載された提言を実行に移すことを切望するとともに、工事着工が1年遅れても区民生活に影響を及ぼさなかったことも、これは昨年のごとです。この着実な実施のために整備計画の着工が当初計画より遅れることはやむを得ないことと考える。幹事会としては考える、提言書作成者は考える」と。こういう文章をどこかに入れたほうがいいんじゃないかと思うんですけども。これは読みようによっては、いかようにも取れるし。要するに、この提言書の実施を要望して、でもやはり「このプロセスを踏むと時間が足りないんだよ」というところで、どこかで切られてしまって、この提言書の中身が十分に、提案した項目が議論されずに再修正案が当初計画通りに作成されて工事着工されてしまうということでもいいのか、よくないのか、この幹事会としては。そういうことを議論する必要があるんじゃないかと僕は思っていて、提案しました。この原案の2つをどう読むか。これは一番のポイントだと思っているんですけども。</p>
④	<p>関連しますので作った人間として申し上げます。時間要件を私は書かないで、皆さんに任せようと思っています。隣に座っていらっしゃる方、前に座っていらっしゃる方、行政の人も一緒にいます。これは幹事会となりますと行政の4人もメンバーですので、これについては⑩さん、⑥さんもお発言をきちんとしていただかないと、後で意味のないものになってしまうので。「そうは言いますけどね」というものがあれば、グループで揉んで頂きたいと思います。</p> <p>他はいかがですか。</p>
⑫	一番最初に図面が出ました、説明を受けました。反対が起きて修正案が出ました。その後でほしい2回の意見交換会を含めると1300くらいの意見が出ています。その意見が修正

	<p>案に全然反映されていないんだよね。区民に分かりづらいんですよ。反対したものにみんな意見を出したのに、どこをどう変えるようになったのか全然見えていない。これはこのままいったら、おかしいんじゃないか。私はいつもこれに書き込んで持っているんですよ、全部。「こういうところが変わる」「これはおかしい」としたものを区民に見せていかないと、何のために意見を出したのかということになってしまうのではないかな。これだけ見たって、私は書き込んでいたんですよ。「これはおかしい」「ここはこうするべきだ」と。これはみんなの意見ですよ、私の考えではなくて。幹事会としてはこういう意見が整理されたものがあるのであれば、一度修正案をこういうように変えるような、皆さんの意見をこういうように変えるようなことを、幹事会としてやりましたというものを見せていかないといけないのではないかな。終わらないんじゃないか、という気がするんだけどね。それが実行されるか・されないかは別ですよ。皆さんの意見をこういうように反映しました、幹事会として整備をして提言書と一緒に出しました、というようなものを見せていかないと、納得できないんじゃないのかなという気がするんだけど。おかしいですか、私が言っていることは。</p>
④	<p>私はそれについて整理すべきことがあると思うんです。まず幹事会というものはどういう前提で招集されて、私たちは応募しているのか。</p> <p>そのことと言えば、意見交換の機会を企画しましょう、そして意見交換の企画を運営しましょうというところが、まずはこの幹事会が求められている役割なんじゃないかと理解しています。そして意見交換会を客観的、合理的にするというためにコンサルとしてやらなくてはいけないと考えたのはこれまで収集していた、⑫さんも仰って下さっている 1300、1100 くらいですが、どうやって活性化していくかという資料を頂いたんですよ。そうしたら「これでは役に立つ構造の整理ができていないんじゃないか」ということに気付いて、ずっと整理してきたわけですね。論題という言い方をしましたが、あれだけの向き合う課題があるということ整理したわけですね。いまの話でいけば、幹事会は修正案に対して「このところは赤だ」という作業をする、ということではないと私は理解していたんですが、⑫さんいかがですか。</p>
⑫	<p>その通りだと思うんですが、ただ意見をね。せっかく頂いた意見がどこにも具体的に見えてこない、修正案の中で。皆さんは図面、修正案を見て反対しているわけですよ。それがどこでどう変わったか分からない。例えば私はこの中で道路を、公園にゆとりがあるところなら構いませんけれども、公園を削ってまで道路を広げようという中で、私は 1 m の植栽なんかはいらないうらと思うんです。そういうことが見えてこないで、そこら辺を議論しないと納得しないんじゃないかと。1 m だったらきれいな公園があるのに、道路にわざわざ植栽を入れてきれいにする必要はない。もっと具体的に言うならば、安全な取り外しのできるガードレールでもいいだろうと。それから護岸を削れば 70 cm ぐらいある。その 70 cm を道路に含めれば公園を削らなくてもできるじゃないか、と色々な意見が出てくるんです。やはり「皆さんの意見を集約するとこういうような図面ができました」というようなものを見せてあげるのもいいんじゃないかな、という気も私はするんですけどね。</p>
④	<p>いまの最後に言って下さったステージが、再修正案の検討というステージじゃないですか。そしてそれを促すために着想としてお持ち頂いていた、「ガードレールでいくのか」「植栽体でいくのか」「どちらがいいのか」という検討を促すというのが提言書なんじゃないか。</p>

	そういうスタンスで書いています。
①	私たちから言えば、あえて再修正案を行政主導では作っていないと。いまの段階で、要はきちんと取りまとめをしない段階で中途半端なものを作っても皆さんご納得いただけないので、まずはこういうような意見交換会をしてちゃんとした意見の集約を図って、それをもって再修正案に向かいたいというところです。ですので、それは次の段階という風に考えて頂ければと思います。
④	私は、いま言外に行政批判をしたんですよね。⑫さんと同じ批判をしました。意見を聞いたという行為をしたというのは聞かされたけれども、それが何のために聞いたんですか。これだけの意見がどういう風に計画に反映されるようなレシーブをしているんですか、と、レシーブがぐちゃぐちゃじゃないですか、という批判をしました。それを私たちの議論のベースにするべきではないかという、それをポジティブに転換するためにはどうしたらいいかというのが、あの整理だったわけです。そして意見交換をしまして、「そうだ」という意見もありましたし、また別の意見も出てきたということも取りまとめて、次のステージのプランの、具体的な検討の次のステージの再修正案の検討に向けて、「これはやって下さい」というのが提言書であると。そんな整理、スタンスであります。
⑫	もう一つ言うならば、例えば丸八通りがありますよね。大島のほうから来て丸八橋を渡って最初の信号を左に行くと、仙台堀川に出るんですよ。私がハンドルを握ると、やはり2つ通りがあったら公園の手前の通りを入れていくんです。それで松本橋を左折して自分のマンションに行くんですが、やはり狭いのは東側の一部分だけなんです。図面を見ながら、こういう風に道が狭くて危険だからこの部分だけ広げるといような図面で見せると、皆さん納得するのではないかと。ちょっと話をしていたら「その通りだ」という人はいるので、全部でなくても部分的に広げれば済む話じゃないのかなと。公園削減という負のイメージは払拭されるのではという風に思ったりするわけです。自分たちが通ってみるとそうなので。
④	⑫さんがいまお話頂きましたのは、話題とすべきこと、これだけ意見を言っているんだからきちんと話題とする、という議論を次のステージでやれるようにしないといけない。次のステージというのは私が言葉をつけてしまいましたけれども、また平面図における検討というのも大変重要だと言って下さいました。いま後半に言いました平面図での検討というのは、次なる再修正案の検討時に行われることであるということは、⑫さん、よろしいでしょうか。提言書の中では平面図での検討ということについて、どう向き合うかまでを書くんだと。
⑨	ちょっといいですか。次のステージという話が出てきましたが、もう一応、ここはいまのレベルでいくと提言書を出して終わりですよ。次のステージは、基本的にないですよ。後ここは戻ってもしょうがない話ですけども、いま⑫さんが仰った話は意見交換会でするものだと思っていたんです。そのために資料を集めて、いくつかの議論をやって、どうなのと。
⑫	私もそう思っていました。
⑨	でももうそれは過去の話なので、であればここで1回「こうだよ」というものを乗せて。それは数も含めてこういう具体的な意見だよ、と。これを再修正案へ、基本的に「よろしくお願いします」か分からないけど「提言します」というのが、意見交換会やいままでの

	<p>ものを含めた話だと思います。それでもし逆に急ぐのであれば、意見交換会の議事録がまとまっていないというのはもってのほかで、学校で追加して集めたものより先にやらなくてはならないことですよね。幹事会として意見交換会を主たるものとするのであれば。だからそこらへんのウエイトの付け方というのは、きちんとしないといけないと思うんですよ。きっちりと言うのであれば。いかがでしょう。</p>
④	<p>そうだと思いますよ。それでどうしますか。</p>
⑨	<p>だから私は言ったように、提言はこれでいいので、そのあとにきちんとした、⑫さんが仰ったような資料などを全部含めて付ければいいのではないかと。で、「やらせるな」と言うのであれば、いま言ったことぐらいをここに書き加えて直すくらいはできますよ。</p>
④	<p>そうですよ、みんなでやりましょう。</p>
⑨	<p>みんなで、という遠慮するじゃないですか。だから…。</p>
④	<p>ちょっと待って下さい。その話はいいから。「みんなでやりましょう」というのは、基本的はスタンスを言っているだけです。 他に確認したり話題にすべきことがある方はいらっしゃいますか。</p>
⑩	<p>一番大きいのは「道路ありきで公園が影響を受けるのか」。それが私も聞かれるんですよ。そのへんはある程度の説明がなされたと思いますけれども、その答えらしきに近いものを提言書に反映しないと。と言いますのは、私のところの住民が、先日の交換会で意見を述べたと思いますけれども、要は前の道路で事故は起きていないし、それで道路云々でされるのであれば、公園をいじらないで道路はそのままいいですと。ということは何もしないでくれと言うことです。それは部分的に良くなるのは結構なんでしょうけど、どうも私もそのへんを聞かれても確たる返答もできない。その辺も色々行政の問題があるかとは思いますが、それがつまづきの原因のひとつだと思うんですけれどもね。</p>
④	<p>⑩さんがずっと一貫して言っておられることですね、それは。実は2ページ目の一番最初の◆、この文章は⑩さんの顔を浮かべて書いたんですよ。「一体化により目指す価値と事業目標を明確にする」。表現が難しい、曖昧と色々言われたけれども。「・何を達成するために事業に取り組むのか、一体で取り組むコンセプトを明示する」。「・一体的な計画の検討を複数行いメリットとデメリットを明示する」、これは⑦さんの顔を浮かべながら書いていたんだけど。こういうことで、また⑫さんが仰ってくれた「ガードレールなのか、1mの植栽なのか」ということも、果たしてそれはどこで、その趣旨をこの文に入れられるのかということ、これが重要だと思うんです。ですからいまご指摘頂いたそれぞれの方のご意見が、ここの中でこういう表現でいいのか。そういうようにして取りまとめていければ、この冊子、文書はできあがってくると思います。</p>
⑦	<p>そういった意味ではいまの⑩さんのところが、僕が先ほど「こんな文章はどうですか」と言ったところなんですよ。これはむしろ僕は行政に聞きたいんですよ。僕が今回の幹事会でずっと意見を言っていて、資料も頂いて理解したのは、道路・公園・河川、最初から「道路」という文字が出ていなくて「公園整備計画」になっているのに、実際には「公園・道路整備計画でしょう」と僕はずっと思っているんですよ。一体整備を謳いながらも道路整備要件の充足が優先されて、既存の道路面積でその要件を満たすことができない。その不足分を公園面積の削減で補うという計画になっている。要するに計画立案の段階でね。趣向として、公園はいじらないと。いじらないという中で、どうやって道路要件を、</p>

	道路に対する要請を応えるのか、という発想でいるのか。ないしは道路の要請、社会的要請があります。自転車、歩行者とかね、ありますと。それに対して「最低これだけ必要なんだ」と。普通なら2つあるわけですよね。住宅地、いま…。
④	提言書に書いた模式図があったでしょう。皆さんシェアしている模式図が。これの前のバージョンの、厚いものの。あれはいま仰って下さっていることを模式図にしたつもりです。
⑦	ここのところはね、ごめんなさい。僕はこれが事実なんだろうと思っているわけです。決してその社会的要請に応えるという、道路上の道路に対する社会的要請を無視してもらってまで公園を削らないでと人は思っていないくて、それはそれで認めている。とにかく今回の修正案、基本計画修正案の思考のプロセスとして、まず道路要請があったのではないか。その中で収まればいいんだけど、やはりダメで公園を削ると。その両サイド8mを削るとなり住民の反発があって、両サイド4mになったと。こういう…。
④	⑦さんはいま「どこをどうしたほうが良い」という発言をしようとしていますか。
⑦	『提言I』の2文がありますよね、2行の文章。「修正案は、道路・公園・河川の一体整備を謳いながらも個別に検討しており、公園の魅力が削られたり…」となっているじゃないですか。ここを「一体整備を謳いながらも道路整備要件の充足が優先され、既存の道路面積で…」と、そういうことです。
④	それは揉んで頂ければと思うんですよね。あとずっと…。
⑦	それと行政として、僕はいまこういう認識をしているんだけど「それは間違いだ」と、「そんなことはない」ということなのかどうか知りたいんですよ。
④	行政の将来の意識でしょう。これまでのことでしょう。
⑦	基本計画を作る、修正案を作るときに、道路に対する社会的要請に応えるにはどうしたらいいか考えました。本当は公園を削りたくないんだけど、公園を削らないと道路に対する社会的要請に…。
④	つまり、その確認をしないとこの文章は書けないから、ということですか。
⑦	そうです。という風に僕は思うんですけども。
④	でも事実って、この前に提言書で書いた模式図を言って、復唱されているだけでしょう。模式図の道路をどちらから測りだしてくるかという、あれを言われているだけじゃないですか。先ほどから⑦さんが仰っているのは。
⑦	それは絵ですよね、電線があったりという。それで言われているだけではないと思うんですけど。
④	その模式図で確認しながら。それで申し訳ありません、⑦さんが先ほど「それはグループの中で揉みましよう」という話をもう1回皆さんに出してきたから。「グループの中で揉みましよう」という約束している話でしょう。それはルール違反でしょう。みんなそれをやりましよう、変えたいんだから。 この前、⑩さんが最初に発言して下さったことが、割とポロっと言われているけど大切なことを言ってくれているんじゃないかと思ったことがあって。いまの⑦さんの話とこれまでの議論と繋げて言えば、これまでやってきたままでは収まらなくなっているから「みんな協賛する」ということが今回設定されているんじゃないか、というような発言で、⑩さんがこの前、大変核心をついたことを言ってくれたと思っていたんですけども。いまの議論を聞いていて、提言書を取りまとめるという意味・意義をどうお考えなのか、ひと

	こと言って頂けるとありがたいと思うんですが。
⑩	たくさん課題があると思うので解決する問題ではないと思うんです。この10月末までに。なので、先に繋がるような提言書を出せばいいんじゃないかと思っていて、例えば「〇〇の検討委員会」など、そういう形で繋がっていかればいいんじゃないかと私個人的には思っているんです。これで終わりなんですけれども、まだ続きはあるだろうという予感を持っています。
④	④さんもお発言を。今日は少し何か、ご感想でも結構ですけれども何かひとつ頂けると。
⑭	私にとっては難しいので。あまりいい意見がでなくてすみません。
④	だいたい意見のやり取りについては、ご理解を頂いていますでしょうか。
⑭	理解はしております。
④	ありがとうございます。またご質問があればどうぞ連絡を頂ければ。 これで今日ご発言いただけていないのは行政の方くらいの話で、良いというのであれば、グループの中で10~15分でもいいから「どうするか」の決着をつけないと。これはこのまま廃案になるともったいないでしょう。「ここをこう直しましょう」など、出すという方向においてのショートミーティングをやっただけで済ませないで済むでしょうか。
⑦	前回の幹事会で確認したんだけど、今回は最後でない可能性もありますよね、と。
④	この前確認で。「まだ変わったんじゃないか」という確認をしたいということですね。
⑦	そうじゃなくて、この前の。僕は今日1日で提言書がまとまると思っていなかったわけですね、当時。いまも思っていない。そのときに「我々の任期を伸ばしてくれませんか」とう要請をしました。そうしたら「任期は伸ばせない」というのが、①さんから回答がありました。そのときにバックデートで、提言書の日付をバックデートすれば良いと。例えば11月に…。
①	それは文言の誤字脱字や微修正を意味しているものであって、それ自体を伸ばしていいという意味では私は発言していない。
④	結構ですけどこの議論のために、少しの時間でもやり取りしてもらうことを私は重要視しようとしているんですけども。⑦さん、ちょっとこらえてもらえませんか。 15分だけ。皆さんもお時間があるでしょうから、15分だけグループミーティングして下さい。これをどのように価値化するか。このまま始動したらもったいないでしょう。直すのはどんどんご自由に直して下さい。「どう直したいか」という言い方でご議論して下さい。では25分まで、よろしくお願いします。
※グループワーキング/2:09:20~2:24:25	
④	時間になりました。白板に書きました。「本当に出すのか」「月末までに提出するのか」ということと、「案のどこをどのように改めていくべきか」、それから「一体誰が仕上げるのか」。この話は今日頂くことがどうしても欲しい。「やらない」という決断もあるかもしれない。「出そう」ということを信じて話しますが「どこから話すか」「誰が仕上げるか」、これについては30分までできちんと終わるということで、グループでこの整理をしていただけないでしょうか。こういうことができれば「やれそうだ」と、「残っている時間はこれだけだけど、やろうか」という話ができると思うんです。 他のグループがデコボコなので、グループでその議論をまとめて頂くのに3分でできればそれに越したことはないんです。

⑧	ここで案を出して、ほかの2つのグループがのってこればありがたい。
④	それはちょっと意味がないからやめましょう。
⑧	でも最終的に全体の意見をまとめなくちゃいけないですよ。
④	もちろんそうだよ。でも、グループの議論を尊重するというやり方をいまやっているから、それについて分かるけど、まずはグループの議論。熟度がバラバラだからもうちょっとやって頂きたい。ここは大分いいかもしれないけれども、他は「ちょっと」という状況だから。それは僕がぐるぐる回って僕の果たしていた役割だから。まず、皆んなで議論することを尊重したいという趣旨で。では30分までやって下さい。30分において発表してもらって、それで集約しましょう。
※グループワーキング／2：26：00～2：30：30	

3. 全体共有の時間

④	時間の制約の中で、ほかのグループの方に趣旨が伝わるように、短く、要領よく発表して頂きたいと思います。その手本になりそうな方、では⑨さんに。⑨さんの話というか、このグループの話聞いて下さい。
⑨	このグループは大筋作られたものに対して、色々あるにしてもそれほど問題はないので、これに意見がある人は今日「ここを直して下さい」ということを書いて送ると。それについてスケジュール感覚ですけれども、修正については26日の12時まで、正午ですね。それまでに直したものを、誰が直すかはコンサルさんか④さんに直して頂いて皆さんにメールを送って頂いて、それについて27日24時までに何かある人は確認して「ここが直っていない」「ここをこうしたい」というのを送って、それが直って出てくるのが30日の朝。それを30日中に「ここが直っていない」などをもう1回言って、それで終わり。31日に「こういうものができました」というのが、日にちを守ったスケジュール感覚だと思います。
④	までに何でしたっけ。
⑨	26日正午までに、修正したものです。今日皆さんが言った意見やこれから送るものを踏まえたこれの修正。
④	それは指示していますね。「修正を終わらせろ」ということですか。その確認時間がここまでであるよ、ということですか。
⑨	そうじゃないです。27日24時までに、26日正午までに直したのについて問題があれば意義申し立てをします。
④	各人全員が確認すると。
⑨	それを直したものが30日に出てくる。
④	確認①と、これは確認②ということですね。
⑬	タイトですね。
⑨	日にちを守るということはそういうことですね。
④	「誰が仕上げる」は。
⑨	誰が仕上げるというか、そこへ集約するしかないですから。
④	コンサル、④と出ていました。
⑨	そういうことです。

④	言った言葉を確認しただけです。ありがとうございました。質疑はいかがですか。
⑱	中身では、提言書という冒頭に3つぐらいの箇条書きで「こういうことを提言します」というコメントがあったほうが伝わりやすい、わかりやすいという意見が出ました。こういう感じで、「提言書」と「①、②…」と「幹事一同」みたいなものがある、以下これが付くという形で、中身の提言Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの構成や書いた意図、書き方というのは⑱さんがおっしゃっていたことですね。提言書を10月末に提出するという意味では、「提出したい」という意見でした。それから「案のどこを改めるか」は細かい意見がありました。「誰が仕上げるか」はコンサルタントという意見でした。
④	大人気ですね、コンサルタント。 では次、いいですか。
⑦	正午までにメールで。
④	明日のですかね、「正午までに」は。
⑦	はい、26日正午。修正というか修正案を幹事が取りまとめている方、この作成者に。ですので④さんですね。
④	指示じゃなくてお願いですよ。
⑧	ここのグループは⑦さんが。
⑦	だけどまず出します、と。
⑧	最後くらいは市民がやらないといけないんじゃないですか。
⑦	僕にまずくれるということですか。それならそれでいいです。
⑧	⑦さんに集中して、⑦さんから…。
⑦	では僕が渡します。行くのはそちら。
⑧	というか、シェアはします。
⑦	だからそこにやります、と。
④	それは修正要請であり、提案であるかもしれない。もちろん書き込んであったっていいですね。
⑦	ですから、書き込んで文案として出します。後はその修正、それを反映したものを、僕らは30日に臨時幹事会、最後の、これは出席できる方だけでもいいから、とりあえず幹事会をやって。
④	これを受けて直すのに、どれくらいを想定しているか、幹事会までギリギリやれと。
⑦	Aグループであれば一番いいと思うんだけど、30日までに出示してもらって。その30日出席できる方に、出席できない方はある意味で全権を委譲して頂ければ、そこで最終化すると。
④	これを臨時幹事会、ですね。
⑦	「最終起草委員会」のようなものですね。そこでおしまいです。ですから30日前までに修正案、いわゆるコメントを集めたものが欲しい。だから29日になるのかな。30日以前ですね。
④	ここで、明日の12時までにはちょっと時間はあるという意味ですね。
⑦	少し練らないといけないので。それで一応我々のグループは、私と⑧さんは30日に出られます。⑩さんは全権を委譲してくれました。
④	分かりました。こういう意見が出ました。ご質問、確認、捕捉したいことを聞きませんで

	した。先ほどももっと別の議論をしていたと思います。もし、補足等々あればどうぞ。
⑨	ここの資料をどう付けるか、というのはありました。④さんが付けたものを付けるしかないけど。ものがないから。
④	資料を付ける。提言書…。
⑨	これはこれで出しますけれど、バックボーンというか「こういう背景があつて」というのは、逆に算出すると⑦さんの日程のほうが現実的だと思うし、30日にこうやってやりながら「このままでいい」と書いてあればこれでできるわけだから、それはそれでいいと思うんですけども。だから、そういう意味では、28・29日までに資料がある人はあれば出すで集まったものを束ねるとか。ひたすらPDFにして。
④	資料は、この事業を考えるときに必要な資料はもうつまびらかにして、それで行こうという姿勢だったでしょう、最初から。それがどのくらい集まっているか、どういう風に共有するか。
⑩	⑨さんの言っている資料は違う。
⑨	違う。本当の資料は、こういう資料があつてここにこう書いてあつて、こう解釈するからこうだよ、というのが本当にやりたかったことですけどもそれはもう無理なので、道路の話とか出てきましたよね。あれをもう折りたたんでそのまま入れておくとか、それぐらいしかできないですけど。ここで終わっちゃうかもしれないから、何かあつたときにはそこをたどれば「こんなものがあつたな」的なものを一式残しておくべきだろう、と思うので。それだけの話で、もう間に合わないの。
④	だから、⑩さんも僕も認識はありながら、そういう認識だろうと思って聞いていたのが、「収集して共有します」というのは、これまでとこれからはどんなような認識でいけばいいですか。「全部はなかなか集まらないですよ」とエクスキューズをたくさん聞いてきたわけけれども、でも確かにファイルに入っているものをたくさん出てきたじゃないですか。まだプレーンのものがあるでしょう。それについて言っていらっしゃるということで、絞ってまずいいか。
⑨	とりあえず、あるものを束ねるしかないじゃないですか。もう何もできないですから。
④	31日を超えてでも「集める」と言ったのに履行ができなかったものに対しては、共有できるような努力というのは、行政としてはして、また公開するということをしていくことは、ネガティブですか。
①	それは問題ないです。
④	そういう理解でいいですか、資料については。
⑨	もうそれしかないです。
④	分かりました。後はございますか。補足、他のグループは。こちらのほうも大丈夫ですか。はい、どうぞ。
⑬	「何をもちて提出になるのか」ということが気になっていて、何かのときのアンケートに「どう提出するのか」みたいな話があつたんですけども。私はそのときに「みんなで区長に出しに行けばいいんじゃないか」ということを書いたりしたんですが、「何をもちて提出になるのか」ということと、この提言書の宛先として「区長及び江東区民へ」という風にして書いてあるところが、区民の皆さんに「この提言書をいかに多くの区民に見てもらおうか」というところを工夫するアイデアを出しておいたほうが良いと思いました。

④	何か具体的にありますか。
⑬	難しいですね。全戸配布とかしたいですけどね。できる何かで努力は必要だと思って、アイデアを少し考えたいと思います。
④	いまそこら辺の点で、①さんに発言して頂けることはありますか。
①	まだ、その辺まではイメージとしてはないんですけども、紙で。そのための会まで、というところまでは考えていないところですね。でも頂いて、ということで区の中で見ていくと。
④	「区長並びに区民」という言い方は、ほぼほぼ網羅できるような出し方をいま。それは認識はそれで大丈夫ですか。
①	それで結構です。
④	では「どのように」というやり方については、例えばホームページや窓口というのはこれまでのやり方ではあったけど、それは否定されない。
①	それとあと「みどり館」というのもありますし、資料に関してはアナログ的な紙媒体で言えばそういうやり方もあるかと。
④	⑬さんは、区長に渡している姿をメディアが写真に撮っているのをイメージしているかもしれないけど、それは難しいですか。
⑬	やりたいですね。この提言書をいかに多くの人に知ってもらえるかによって、重みがまた変わってくるかと思うんですよ。これからの修正案に対するプレッシャーですけど、そういう力もあると思う。これが内々で終わってしまっっては。
④	これは持ち帰り検討して頂く形でよろしいですか。
①	いますぐ、というのは返事ができない。
④	「できる」とは言えないけれども、「分かった」ということでいいですね。他はいかがですか。 では、改めて伺います。今回「前に作った10何ページになったものを圧縮しましょう」と、この前の⑦さんが進行で4～5ページと言われて、「A3両面だから4ページだ」みたいにやってしまったんですけど、その拘りはあまり持たなくてよろしいですか。
⑦	1ページ増えるくらいは、いいんじゃないですかね。 ④さんをお願いしておきたいのは、区民の意見とかあるじゃないですか。
④	資料というところですか。
⑦	いえ、資料ではなくて。
④	資料じゃなくて、表現の。これはここで出して下さい。今日は時間がだいぶ絞れているから。
⑦	そうじゃなくて、ここの文章をお願いしたい。
④	分かりました。
⑨	スケジュールについて決まっていないんですね。
④	それについて、⑨さんも「それは後ろでもいいんじゃないか」という意見がありました。
⑨	私はそれでもいいと思ったけど、他の方は違うかもしれない。
④	だから諸々含めて。これはどうしましょう、日程だけ。おしりから行きますと、提出だからこの前くらいには確定しなくちゃいけない。でも直せないですよ、ほとんど。この時に直せと言っても。

⑦	ですから 30 日に膝付き合わせて「これで行こう」と。
④	確認①、確認②とやるって、この短い時間でこういうような構えというのは、大変なんだけど割と安定性があるものになるかもしれない。
⑨	29 日に前裁きがあるんですね。
④	29 日に前裁き。どこに書いてあるっけ。
⑨	だからそれを⑦さんがやられるという。
⑦	29 日までで、だから 30 日前ですよ。いわゆるみんなが、26 日の週に僕らがメールを出しますよね。それでそのみんなのコメントを反映するのは何日ですか。27 日ですよ。
④	書いてあるからといってできるかは。
⑨	私が当初言ったのはね。
⑦	27 日で、まとまったものをまた流してもらおう。
⑨	折衷案のタイプになるわけですか。
④	これ決めたら今日は解散にしましょう。
⑦	26 日の正午までにコンサルに流しますよね。それをみんな修正したものを 27 日の、コメントをまとめて「こんなコメントがあった」と流せるのは、何時ぐらいですかね。
④	「こんなコメントがあった」というのは。
⑦	修正案を皆んな出すじゃないですか。
④	メールでみんな流し合うじゃないですか。だから皆んな見るじゃない、それを。修正要請をそれぞれの人が発信するでしょう。それは皆んなシェアするでしょう。⑮さんと⑯さんにも配慮しますので、のち紙で。それで何を皆んなが言っているのかということは分かるでしょう。
⑦	26 日正午に分かる。その修正の取りまとめをコンサルにまずしてもらうことは、できないかな。
④	ドキドキしていますよ。1 日でやるわけでしょう。
⑦	だから僕は 28 日でもいいと思うんですよ。
④	いや、やる。
⑯	一般論としては土・日の就業はなかなか…。
④	僕に言わせないで下さい。 実現するために一汗かけて、一汗じゃすまない。
⑦	ウィークデーというと、27 日の。
⑯	27 日の作業は、コンサルでは可能です。
⑦	27 日に出して頂けるということで大丈夫ですか。取りまとめたものを。木曜日の昼に修正要請がメールで来ます。それを取りまとめたものを 27 日夜にいったん流していただけますと。そういうことは可能ですか。
⑯	はい。
⑦	それを受けて、そうするともう 30 日に行ってしまうのかな。土・日だから。
⑨	新たなスケジュールになっているわけですよ。26 日 12 時までに、私も含め皆さんからの意見が事務局に行くと。26 日の正午から修正を開始して、それが上がるのが 27 日夜。27 日夜には配信されるということではないんですよね。

⑱	基本的な修正や、今日で言うと大枠の流れや骨格に対して赤書きに近い形や追記の欲しい部分を集めて、要するに骨格を作ってしまうところであれば、作業的にはできると思います。構成や目次の抜本的な見直しというようなご意見だけが出ると、検討やワークとか作業をしっかり取りまとめるところは大丈夫なんですけれども、骨格のフレームとか…。
⑦	それはないよね。それをやったらできないよね。だから「ここをこう直して欲しい」とか。
⑱	そこがなければ大丈夫です。
⑦	「この文章をこういう風に変えて欲しい」というのを、原案があって例えば「⑦」と書いて案をそこに入れてもらえれば。そんなやり方ならできますよね。それを27日夜までに流して頂いて、それを読み込んで30日に臨むと。
④	ここまでいいですね。27日ね。それでこれを皆さんがいいのか・悪いのか、まずはメールで発信してもらうことが重要でしょう。
⑦	それはもう土・日は関係ないから。28・29日でメールの交換ですかね。
⑨	そこでも動くんですね。コンサルタントからのメールは28日0時から見れるわけですよね、基本的に。そこで見たものについて30日の幹事会で意見を言うのではなく、そこで意見交換があると。
⑦	メールでやり取りをしたうえで、30日の膝の突き合わせに臨むと。
⑨	それは、土・日のメール交換は業務ですよ。
⑦	メールの交換だけですよ。それに伴ってどこかを修正するという、そこまでは。
⑨	それはもう任意ですよ。
⑦	そうすると、他の人が何を考えているかが分かる。
⑨	そうですね。私と⑦さんの意見が違っていたら、「ここをすり合わせたらいかがですか」というのがこういう形でできると。
⑱	前提としてメールにリアクションできないときに、「同感です」とか意思表示ができていないわけではなくて、物理的にメールが送れない、見れていないという状況も含めてやり取りということで、ご理解頂ければと思います。
④	ほとんど決めないということですね。
⑦	それじゃ決まらないです。
④	メールのやり取りで決定はしないということですね。でも意見表明をしておいてくれると、30日に何がしかをやるときに、ある程度、他者の意見を理解した上で発言できる。
⑱	多くの気づきを30日に詰め込むという意味では、⑦さんのご意見は良いと思います。
④	30日の会議室は。突然行政が取れるかどうか、ハードルが高いかもしれない。それ自体調整で、30日は変な話、行政が主催というよりは我々の自主開催かもしれないね。こういう状況だと。ただ開催するという方向で良いかどうかだけ、ここで決めておきますか。
⑦	出られない人は全権を委任していただかないと。そこで最終ができないですよ。
④	それを表明できるのが28～29日ということですよ。
⑦	いえ、今日ですよ。
④	調整が取れるかもしれないですよ。30日の直前に。
⑦	基本的に不出られる人はいいいんだけど、出られないかもしれない、という人がいらっしやれば、「30日の決定を任せます」という確認はして頂いたほうがいいと思うんですけどもね。

④	さて、30日に開催してこういうような運びで31日には提出と。30日のうちに決定して、つまり修正時間が必要なのかも知れないけれども、皆さんもウィークデーだからお仕事をなさっていらっしゃるのやはり開催はしんどいけれども、私たちがいつも使っている時間になるのかな。
⑧	そうなりますね。
④	そうだよね。それはそうすると…。
⑧	でも僕は、全権云々ということであれば、この議論に関してはお任せします。
④	では開催する・しない、自主開催と言えるのも親である行政の考え方について、①さんに整理して頂いてよろしいですか。
①	30日に会議室の関係もありますが、幹事会的には開催することは前向きに、明日にでも確認を取って会場を探して、ダメなら⑦さんに相談させて頂く形でやりたいと思っています。
④	では、長い時間になりましたが、確認をします。それで閉じましょう。 提言書というものは、区長・区民、広くみんなに示したい。プレスで出すとか、そういうことについても要請がありましたから検討して下さい。出し方については、ホームページ・窓口というので、なるべく広く渡したい。また、案のどこを改めるかについて言えば、カレンダーの話に入ります。本日から26日正午まで要請事項を、「やらせる」という感じではなくて「一緒にやる」という愛情を持ったメールをお待ちしています。27日の夜までに修正をして、28～29日まで、それについてのやり取りをしましょう。30日には確認のミーティングを19時から開催し、「またきつと直しが出るでしょう」ということで、31日には修正したものを提出しましょう、とこういう運びでした。 また提言の内容については、そこで言ってくれたのは、いま提言が3本立てになっていますが、その構成の意図等もわかりやすく示す必要があるのではないか、というご発言もありました。ご発言したい方がいらっしゃれば、最後に伺います。
⑦	本当は提言書を区長に渡す幹事会があって、幹事を務めた人たちが区長に提言書を渡すというシーンを撮ってそれが区報に載ると。こういう形が取れば良い。
④	そういう夢、希望が語られましたので、よろしくお願いします。⑮さんいかがですか。
⑮	そこに住む人の意見を重視してやって頂きたい。やはりそこに住む人が一番なんですから。⑫さんが言ったように、道路が狭いからこちらをちょっと残してへこませてもいいという意見を聞いて、今日も私は公園の活動をしていたんですよ。保育園がなくなって壊してミニ公園を作るんですが、どうしたらいいか、やはり地元で使う人が提言しないと。我々はうちと丁目が違って3丁目にできるんですけど、やはり地元の方がやって下さいと。他から来て「ない」と言っても本当は困るんですよ。
⑳	今日で最後ではないということで、引き続きお願いします。
④	ありがとうございます。とても重要なことを言って頂きました。 ありがとうございました。

—以上—